

## 第4回 地方独立行政法人北九州市立病院機構評価委員会

日時：平成30年10月29日（月）15：30～

場所：北九州国際展示場・AIMビル3階 314・315会議室

### 次 第

#### 1 報告事項

- 第3回 北九州市立病院機構評価委員会開催結果について

#### 2 議題

- (1) 中期目標（修正版）について
- (2) 中期計画（たたき台）について

#### 【配布資料】

- 資料1 第3回「北九州市立病院機構評価委員会」の開催結果について
- 資料2 「北九州市立病院機構 中期目標（案）」に対する市民意見と市の考え方
- 資料3 北九州市立病院機構 中期目標（案）の文言修正について
- 資料4 中期目標（修正版）
- 資料5 意見書（案）
- 資料6 中期計画（たたき台）

### 第3回「地方独立行政法人北九州市立病院機構評価委員会」の開催結果について

- 1 **開催日時** 平成30年8月27日（月）15:30～16:30
- 2 **開催場所** 北九州国際展示場・AIMビル3階 314・315会議室
- 3 **出席者** 近藤委員長、赤木委員、小松委員、下河邊委員、田中委員、花岡委員、松木委員、吉田委員
- 4 **内容** 中期目標（案）について
- 5 **会議要旨**

○吉田委員（よしだ小児科医院・理事長）

医療センター、八幡病院ともに、専門性を伸ばすことは良いことだが、患者が「受診したい」と思う雰囲気を作るには、医療スタッフがその気で当たらないと駄目だと思う。特に、患者への細やかな目配りや声掛けは大事だが、医療センターの外来ではやや足りない面があるのではないかと感じている。例えば、外来全体を見回って待ち患者の体調などに気配りできるような看護師の配置を検討してはどうか。

高度な医療だけではなく、患者に「受診したい」と思わせることが大事だと思う。

○田中委員（下関市立市民病院・理事長）

独法化すると柔軟な病院運営が可能となるが、中期目標をあまり厳しく設定されると、目標達成に必死になり、評価や報告書の事務作業が増えてしまう面がある。

そういう意味では、今回の中期目標（案）は、ちょうど良いバランスだと思う。

○花岡委員（福岡県看護協会・会長）

今回の中期目標（案）は、病院運営全般が網羅されたものと評価している。

患者に選ばれる病院になることが最終的な質の評価になると思う。職員の人となりや患者を呼ぶのであり、最前線にいる職員の意識を変えるためには、リーダーシップやマネジメントが大事になる。一方、職員が病院のために何かをやろうというふうに意識が変わるには、病院から大事にされていると思える職場にする必要があり、リーダーシップとメンバーシップ双方の関係が大事になると思う。

また、中期計画の段階の作業になると思うが、独法化後は、職員みんなが理解して共有できるような分かりやすい数値目標などを設定することがとても大事だと思う。

○小松委員（北九州手をつなぐ育成会・理事長）

中期目標の期間については、市の案のとおり「5年」が妥当だと思う。

また、今回の中期目標（案）については、評価委員の意見も取り入れられており、非常に良いものができたと評価している。

独法化後は、経営改善も重要だが、病院スタッフが一丸となって病院を作っていくという意識が大事であり、病院に対する愛着心が醸成されることも大事である。

そういう意味では、「市民・地域医療機関からの信頼の確保」として、患者サービスの向上を目標に具体的に掲げたことは非常に素晴らしいことだと思う。

独法化を契機として、理事長のリーダーシップの下、患者から評価されるより良い病院になることを期待している。

○赤木委員（全国地方独立行政法人病院協議会・事務局長）

災害時の医療について、「病院自体が被災することも想定して対応策を準備すること」が中期目標に明記されたことは大変良いことだと思う。

中期目標（案）はこれで良いと思うが、「独法化して何が変わったのか」ということが独法化後は議論になると思う。そのため、今後作成する中期計画については、例えば、未収金発生の予防策や悪質な滞納者への対策をどうするか、また、これまで市職員が定期異動していた事務職員の人材育成などについても記載する方向で検討して欲しい。

○松木委員（松木公認会計士税理士事務所・所長）

今回の中期目標（案）は、細か過ぎず大まか過ぎず、スマートな良い内容だと思う。

現在、病院局の過去数年の財務諸表を決算資料等でチェックしているが、今後の中期計画の作成にあたって気になることが2点ある。

1つは、独法化後は、病院局の資産や負債が法人に引き継がれることになると思うが、例えば、借入金の支払利息について、今後の利率の変動等にどう対応していくのか。

もう一つは、看護専門学校について、学校単体の収支状況がどうなっているのか。

今後、中期計画を議論する中で、明らかにしていただきたい。

○下河邊委員（北九州市医師会・会長）

この中期目標（案）が実行されるよう願っている。

独法化後は、2つの病院の質を担保しながら、いかに患者目線で運営するか、2つの病院をいかに機能分化していくか、地域医療の中でどうポジショニングを取っていくかが課題だと考えている。

○近藤委員長（北九州市立大学・特任教授・前学長）

独法化後は、患者や市民に選ばれる病院になるためのマネジメントが必要だということは、評価委員会として、是非新しい理事長や院長に伝えるようにしたいと思う。

また、今回、委員からは、中期計画に関連する意見や要望がいくつか上がっていたので、事務局は、今後議論できるように準備していただきたい。

今回、提示された中期目標（案）については、大きなご異論はなく、これで固まったと認識している。評価委員会として了承した形でよろしいか。

<委員一同「異議なし」>

それでは、今回の中期目標（案）については、評価委員会として了解したこととする。

## 「北九州市立病院機構 中期目標(案)」に対する市民意見と市の考え方

## 【意見の内容】

- ① 中期目標の主旨や内容に対する賛意や共感を示す意見
- ② 中期目標の今後の進め方等に対する考えを述べた意見
- ③ 中期目標の内容や表現に対して追加や修正を求める意見
- ④ その他の意見

## 【意見の反映結果】

- ① 中期目標に記載済、または目標期間中に実施予定
- ② 追加・修正あり
- ③ 追加・修正なし
- ④ その他

No.	意見の概要	市の考え方	内容	反映結果
「第2-3-(1) 人材の確保・育成」に関するもの				
1	2015年にくも膜下出血のため、市立八幡病院で手当を受けたが、その後、医師不足のため脳神経外科の対応ができなくなっていたことに驚いた。私のように脳卒中は診察時間外に発症することが多いため、24時間体制で対応することが求められる。	市立病院として医療の質を確保するためには、医師の確保は非常に重要だと考えています。そのため、中期目標(案)においても、「人材の確保・育成(第2-3-(1))」の項において、医師の確保について明記しています。 なお、八幡病院においては、平成29年度の一時期は脳神経外科医師が不足していましたが、平成30年度は脳神経外科医師を確保しており、現在は24時間対応が可能となっています。	②	①
「第2-4-(2) 地域医療機関との連携」に関するもの				
2	JCHO(地域医療機能推進機構)や国立病院機構のような大規模な公的病院では、本部の意向が大きく働くため、地域医療機関との役割分担が難しい状況にある。 市立病院も独法化すれば、こうした大規模な公的病院のようになるのではないかと。	市立病院は、北九州区域において、政策医療を中心として市民に必要な医療を提供していくことが使命であり、地域医療機関との連携や役割分担が不可欠であると考えています。 そのため、中期目標(案)においても、「地域医療機関との連携(第2-4-(2))」の項において、地域の医療機関に信頼される病院を目指すよう明記しています。 独法化後も、市立病院として地域医療機関との連携や役割分担に努めてまいります。	②	①
「第3-1-(2) 適切な診療報酬の確保」に関するもの				
3	市立病院の未収金対策はどうなっているのか。 独法化後、未収金対策がおろそかにならないようにしていただきたい。	市立病院における未収金については、各病院に専任職員を置き、公費負担制度などの周知を行い、発生抑制に努めるとともに、発生段階で速やかに電話催告や訪問徴収を行うなど、適切な対策を講じているところです。 独法化後も、適切な未収金対策に努めてまいります。	②	①
「第5-1 看護専門学校の運営」に関するもの				
4	市立看護専門学校については、少子高齢化という社会事情を踏まえ、存続すべきである。	市立看護専門学校については、市立病院独法化後は、法人が運営を行うこととしており、中期目標(案)においても、「看護専門学校の運営(第5-1)」の項において、その旨明記しています。 独法化後も、看護専門学校の効率的な運営に努めてまいります。	②	①

意見募集期間:平成30年9月3日から平成30年10月2日まで(30日間)

## 北九州市立病院機構 中期目標（案）の文言修正について

### 1 「医業収支」を「営業収支」に修正

《修正理由》 独法化後は地方独立行政法人会計基準が適用されるため、法人本部を含めた病院全体の本業の収支を示す指標としては、「医業収支」ではなく「営業収支」となることから、文言を修正するもの。

《修正文案》 ○第3－1－（1）病床利用率の向上

政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組むこと。

○第4－1 財務基盤の安定化

イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現すること。

### 2 その他、送り仮名等形式的な修正

## 地方独立行政法人北九州市立病院機構 中期目標（修正版）

### 前文

#### 1 地方独立行政法人化に至った経緯

北九州市（以下「市」という。）では、平成27年3月に国が示した「新公立病院改革ガイドライン」を受けて、「新公立病院改革プラン」を策定するため、外部の有識者で構成する「市立病院のあり方検討会議」を立ち上げ、市立病院の経営形態、地域医療構想を踏まえた市立病院の役割等について、段階的に議論を深めてきた。

こうした議論を踏まえ、平成29年10月に「新北九州市病院事業経営改革プラン」を策定し、その中で、北九州市立医療センター（以下「医療センター」という。）及び北九州市立八幡病院（以下「八幡病院」という。）については、「平成31年4月の地方独立行政法人化」を目指すこととなった。

これを受けて、平成30年3月に「地方独立行政法人北九州市立病院機構定款」が北九州市議会において議決されたことから、今般医療センター、八幡病院及び看護専門学校を所管する地方独立行政法人北九州市立病院機構（以下「法人」という。）を設立することとした。

#### 2 設立団体として法人に求めるもの

##### (1) 地方独立行政法人制度の特長を活かした自立的な運営

現在、医療センター及び八幡病院は、政策医療として、周産期、感染症及び小児救急を含む救急医療を担うほか、医療センターはがん診療において、八幡病院は小児医療において、それぞれ区域内有数の実績を示しているなど、重要な役割を果たしている。

法人には、医療センター及び八幡病院において、こうした政策医療を着実に実施しつつ、理事長のリーダーシップの下、地方独立行政法人制度の特長を活かした自立的な病院運営を行うことを期待する。

##### (2) 地域医療構想の実現に向けた機能分化・連携

平成29年3月に福岡県が策定した地域医療構想では、北九州医療圏は、医療資源は豊富であり、医療提供体制は全般的に充実しているものの、今後の医療需要の変化に適切に対応していく必要があるとされている。

地域医療構想の実現に当たっては、地域の医療資源の効率的な活用が重要であることから、法人には、医療センターと八幡病院の機能分化と連携強化を推進するとともに、地域の医療機関との役割分担と連携に取り組むことを期待する。

### 3 中期目標の位置付け

この中期目標は、地方独立行政法人法（平成15年法律第118号）第25条の規定に基づき、法人が病院事業を実施するに当たって達成すべき業務運営に関する目標について、法人の設立団体の長である北九州市長が北九州市議会の議決を経て定めるものであり、法人においては、この中期目標を実現するための具体策、数値目標等を盛り込んだ中期計画を策定するよう、北九州市長として指示するものである。

## 第1 中期目標の期間

平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。

## 第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する事項

### 1 政策医療の着実な実施

法人が担うべき政策医療については、次に掲げる「感染症医療」、「周産期医療」、「小児救急を含む救急医療」及び「災害時における医療」とする。

政策医療の提供については、可能な限り効果的かつ効率的な運営に努めること。

医療需要の変化により政策医療の提供体制の見直しが必要と判断される場合は、市と十分協議すること。

#### (1) 感染症医療

医療センターにおいて、「第2種感染症指定医療機関」としての役割を果たすこと。

#### (2) 周産期医療

医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供すること。

#### (3) 小児救急を含む救急医療

八幡病院において、「救命救急センター」及び「小児救急センター」としての役割を果たすこと。

#### (4) 災害時における医療

ア 八幡病院において、市及び北九州市医師会との連携の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たすこと。

イ 医療センター及び八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たすこと。

ウ 災害時における医療提供については、病院自体が被災することも想定して対応策を準備すること。

## 2 各病院の特色を活かした医療の充実

政策医療に加え、次に掲げる医療センター及び八幡病院の特色を活かした高度で専門的な医療を提供すること。

### (1) 医療センター

ア がん医療について、「地域がん診療連携拠点病院」として、高度で専門的な医療を提供すること。

イ がん患者や家族の支援機能を充実させること。

ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努めること。

エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供すること。

### (2) 八幡病院

ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図ること。

イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組むこと。

ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供すること。

## 3 医療の質の確保

### (1) 人材の確保・育成

ア 医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めること。

イ 特に、医師の確保に当たっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実等に努めること。

ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、先進的な事例や取組を習得できる教育研修制度を充実させること。

### (2) 医療の質の確保・向上

ア 医療の多様化や複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を超えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組むこと。

イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組むこと。

ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備、更新等を計画的に進めること。

### (3) 医療安全の徹底

安全で安心な医療を提供するため、医療事故、院内感染等の医療の安全を脅かす事象に関する情報収集、分析を行い、適切な予防策を講じること。



#### (4) 医療に関する調査・研究

高度で先進的な医療の提供に向けて、医療に関する調査、研究に積極的に取り組むこと。

### 4 市民・地域医療機関からの信頼の確保

#### (1) 患者サービスの向上

- ① 患者目線での病院運営の徹底
  - ア 患者や家族のニーズを的確に把握し、市民から信頼される病院を目指すこと。
  - イ 職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努めること。
- ② 快適な院内環境の整備
  - ア 施設や設備面での快適性を向上させること。
  - イ 患者や家族の利便性を向上させること。
- ③ 患者や市民への情報提供
  - ア 診療内容、治療実績等の情報発信に積極的に取り組むこと。
  - イ 市民の健康増進に向けた取組を進めること。

#### (2) 地域の医療機関等との連携

- ア 地域の医療機関のニーズと役割を把握し、地域の医療機関に信頼される病院を目指すこと。
- イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たすこと。
- ウ 医療センターと八幡病院の機能分化や連携を深めること。

## 第3 業務運営の改善及び効率化に関する事項

### 1 収入増加・確保対策

#### (1) 病床利用率の向上

政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組むこと。

#### (2) 適切な診療報酬の確保

- ア 複雑化する診療報酬制度に対応するため、医療事務の処理能力を強化すること。
- イ 全職員が診療報酬制度への理解を深めるとともに、診療機能の強化につながる施設基準の取得を積極的に検討するなど、適切な診療報酬の確保に向けて不断に取り組むこと。

## 2 経費節減・抑制対策

### (1) コスト節減の推進

- ア 地方独立行政法人制度の特長を活かした契約制度の導入に取り組むこと。
- イ 法人全体で業務の抜本的な見直しに取り組むこと。

### (2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備

- ア 医療機器等については、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努めること。
- イ 医療機器をはじめとする高額な機械設備、情報システム等の新規導入及び更新に当たっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組むこと。

## 3 自立的な業務運営体制の構築

### (1) マネジメント体制の確立

- ア 病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築すること。
- イ 各病院においては、院長以下、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組むこと。

### (2) 職員の経営意識の向上

- ア 職員の経営感覚を高めるための取組を進めること。
- イ 職員自らが業務改善に積極的に取り組むこと。

### (3) 法令・行動規範の遵守等

- ア 医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、法人職員としての行動規範と倫理を確立すること。
- イ ガバナンス強化の観点から、内部統制の仕組みを整備すること。

## 4 職場環境の充実

- ア 働き方改革の観点から、病院の実態に即した職員が働きやすい職場環境づくりに努めること。
- イ 職員のやりがいや満足度の向上に努めること。

## 第4 財務内容の改善に関する事項

### 1 財務基盤の安定化

- ア 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させること。
- イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現すること。
- ウ 大規模な設備投資等に伴う資金の借入れ、返済等、長期的な資金収支の均衡を図ること。

### 2 運営費負担金のあり方

政策医療の実施等に対する運営費負担金については、法人の経営状況を見ながら、国が示す基準等に基づいて適切に行うこととするが、法人としては、経営効率化の観点から可能な限り自立した経営を目指すこと。

## 第5 その他業務運営に関する重要事項

### 1 看護専門学校の運営

- ア 地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組むこと。
- イ 教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努めること。
- ウ 将来的な看護専門学校のあり方については、市と十分協議すること。

### 2 施設・設備の老朽化対策

建築後25年以上を経過している医療センターの老朽化対策等、大規模な投資が必要な事案については、将来的な政策医療の提供体制に関する検討結果等を踏まえる必要があることから、市と十分協議すること。

### 3 市政への協力

- ア 地域包括ケアシステムの構築や障害者医療への支援体制づくりなど、市が進める保健、医療、福祉及び介護に関する施策について、積極的な役割を果たすこと。
- イ 災害発生時やその他の緊急時の医療提供体制については、「北九州市地域防災計画」や北九州市災害対策本部の決定等に基づき、北九州市医師会と連携し、適切な役割を果たすこと。
- ウ その他、市からの協力要請については、積極的に対応すること。

(案)

平成 30 年 月 日

北九州市長 北 橋 健 治 様

地方独立行政法人北九州市立病院機構 評価委員会  
委員長 近 藤 倫 明

意見書

地方独立行政法人北九州市立病院機構に係る中期目標について地方独立行政法人法（平成 15 年法律第 118 号。以下「法」という。）第 25 条第 3 項に基づく本評価委員会の意見は下記のとおりである。

記

- 1 法第 25 条第 3 項の規定に基づく中期目標については、別添とすることが適当である。

中期計画（たたき台）

目 次

前文	P 1	(1) 病床利用率の向上	P 14
第 1 中期計画の期間	P 1	(2) 適切な診療報酬の確保	P 15
第 2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置	P 1	2 経費節減・抑制対策	P 16
1 政策医療の着実な実施	P 1	(1) コスト節減の推進	P 16
(1) 感染症医療	P 1	(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備	P 16
(2) 周産期医療	P 2	3 自立的な業務運営体制の構築	P 17
(3) 小児救急を含む救急医療	P 2	(1) マネジメント体制の確立	P 17
(4) 災害時における医療	P 3	(2) 職員の経営意識の向上	P 18
2 各病院の特色を活かした医療の充実	P 4	(3) 法令・行動規範の遵守等	P 18
(1) 医療センター	P 4	4 職場環境の充実	P 19
(2) 八幡病院	P 6	第 4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置	P 20
3 医療の質の確保	P 7	1 財務基盤の安定化	P 20
(1) 人材の確保・育成	P 7	2 運営費負担金のあり方	P 21
(2) 医療の質の確保、向上	P 9	第 5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置	P 21
(3) 医療安全の徹底	P 10	1 看護専門学校の運営	P 21
(4) 医療に関する調査・研究	P 10	2 施設・設備の老朽化対策	P 22
4 市民・地域医療機関からの信頼の確保	P 11	3 市政への協力	P 22
(1) 患者サービスの向上	P 11	第 6 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画	} P 23 ※内部調整中
① 患者目線での病院運営の徹底	P 11	第 7 短期借入金の限度額	
② 快適な院内環境の整備	P 11	第 8 出資に係る不要財産又は出資に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画	
③ 患者や市民への情報提供	P 12	第 9 重要な財産の譲渡又は担保に供する計画	
(2) 地域医療機関等との連携	P 13	第 10 剰余金の使途	
第 3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置	P 14	第 11 料金に関する事項	
1 収入増加・確保対策	P 14	第 12 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項	

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>前文</b></p> <p>地方独立行政法人北九州市立病院機構（以下「法人」という。）は、「新北九州市病院経営事業改革プラン」に基づいて設立されている法人であることを踏まえるとともに、中期目標に掲げる「地方独立行政法人制度の特長を活かした自立的な運営」、「福岡県地域医療構想の実現に向けた機能分化・連携」に留意しつつ、中期目標の実現に向けて職員一丸となって取り組むため、地方独立行政法人法に基づき、以下のとおり中期計画を定める。</p>		
<p><b>第1 中期計画の期間</b></p> <p>平成31年4月1日から平成36年3月31日までの5年間とする。</p>		
<p><b>第2 市民に対して提供するサービスその他の業務の質の向上に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <p><b>1 政策医療の着実な実施</b></p> <p>ア 政策医療として、次に掲げる「感染症医療」、「周産期医療」、「小児救急を含む救急医療」、「災害時における医療」を提供する。</p> <p>イ 政策医療の提供については、可能な限り効率的かつ効果的な運営に努める。</p> <p>ウ 政策医療の実施に当たっては、北九州市域の医療需要に十分適合させることとし、医療需要の変化等により政策医療の提供体制の見直しが必要と判断される場合は、政策医療のあり方について、市が適切に判断できるよう努める。</p> <p><b>(1) 感染症医療</b></p> <p>医療センターにおいて、市内で唯一の「第二種感染症指定医療機関」として、二類感染症や新型インフルエンザの受け入れに関して中核的な役割を担う。</p> <p>○二類感染症が発生した場合は、市の対策部門と密接な連携を図りながら、患者の収容・治療に迅速に対応する。</p> <p>○二類感染症患者の長期入院等に備えた体制を確保するとともに、二類感染症に対応できる専門的な知識と技術を有する職員の育成に努める。</p> <p>○感染症発生時に備え、検査試薬や医薬品等の十分な数量の確保に努めるとともに、関係機関と連携して必要な対策・訓練を実施する。</p>	<p><b>(1) 感染症医療</b></p> <p>○第二種感染症指定医療機関として、新型インフルエンザ等の感染症患者への対応が迅速に行えるよう、平常時から医療体制を維持するとともに、感染症発生時の市内の関連病院との応援体制の確立を図る。（広島）</p> <p>○第二種感染症指定医療機関として、感染症患者を常時受け入れられる体制を維持するとともに、二類感染症、新型インフルエンザ等の感染症発生においては、地域で先導的かつ中核的な役割を担う。（岡山）</p> <p>○市内で唯一の第二種感染症指定医療機関である市全域における安全確保に向けて率先した対応を行う。（神戸）</p> <p>○関係機関と連携した対応が円滑に行えるよう、市等が行う訓練に参加するほか、必要な対策・訓練を実施する。（神戸）</p> <p>○より専門性の高い感染症医療に対する知識の習得に努め、新興感染症等の新たな医療課題への対応を率先して行う。（神戸）</p> <p>○新型感染症等が発生した場合に対応できる医師や看護師等の専門職員を確保する。（京都）</p> <p>○検査試薬や医薬品、予防接種ワクチンなどについて十分な数量の確保に努める。（京都）</p>	<p><b>(1) 感染症医療</b></p> <p>○感染症患者数[実績（人）]（神戸・堺）</p>

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																		
<p><b>(2) 周産期医療</b></p> <p>医療センターにおいて、「周産期母子医療センター」として、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>○胎児要因や母体要因による母体搬送の受け入れ、緊急分娩や異常分娩への小児科医の立ち会い、新生児外科疾患の手術などの診療を24時間体制で行うなど、ハイリスク妊娠やハイリスク新生児の診断・加療について北九州市とその近郊において中心的な役割を担う。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 575 1249 760"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>母体搬送件数</td> <td>112件</td> </tr> <tr> <td>NICU受入患者数</td> <td>2,009件</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(3) 小児救急を含む救急医療</b></p> <p>八幡病院において、「救命救急センター」、「小児救急センター」としての役割を果たす。</p> <p>○北九州医療圏における救急医療体制の中核施設として、24時間365日救急患者を断らず受け入れ、適切な医療を提供する。</p> <p>○特に小児医療については、小児科外来の充実や小児集中治療室（PICU）の整備等により、初療から集中治療を要する場合まで24時間365日対応できる環境を整え、適切な医療を提供する。</p> <p>○救急患者に対する適切な医療の提供を行うには救急科医の確保が必要なことから、救急科専門医の基幹研修施設として、人材育成を通じて救急受け入れ体制の強化に取り組む。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1253 1249 1530"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>救急車応需率</td> <td>96.3%</td> </tr> <tr> <td>救急受入件数</td> <td>3,567件</td> </tr> <tr> <td>救急患者手術件数</td> <td>306件</td> </tr> <tr> <td>小児救急ウォークイン患者数</td> <td>29,509人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	平成29年度実績	母体搬送件数	112件	NICU受入患者数	2,009件	項目	八幡病院	平成29年度実績	救急車応需率	96.3%	救急受入件数	3,567件	救急患者手術件数	306件	小児救急ウォークイン患者数	29,509人	<p><b>(2) 周産期医療</b></p> <p>○総合周産期母子医療センターとして、リスクの高い妊産婦や極低出生体重児に対する医療等、母体、胎児及び新生児に対する総合的で高度な周産期医療を提供する。（広島）</p> <p>○合併症妊娠・分娩やハイリスク妊娠に対しても、母子ともに安全な分娩管理を行い、他の医療機関からの母体搬送を受け入れる。（京都）</p> <p>○周産期においては助産師外来や産後ケアの充実を図り、分娩時以外の妊婦（母体）の健康を管理する役割を担う。（岡山）</p> <p>○市内の医療機関と十分に連携を図り、役割分担を明確にした上で、医療スタッフの充実や医療技術の向上に努めるなど体制の充実を図る。（神戸）</p> <p><b>(3) 小児救急を含む救急医療</b></p> <p>○救命救急センターとしての役割を十分に果たすことが命題であり、より重症・重篤な患者に対して365日24時間体制の救急医療を提供することに主眼を置いた体制を常に確保する。（神戸）</p> <p>○入院が必要な救急患者を受け入れるため、病床運用の効率化や地域医療機関との連携による他医療機関での後送病床の確保などに取り組む。（堺）</p> <p>○小児救急医療については、引き続き365日24時間小児科医師を配置し、入院を必要とする小児を可能な限り受け入れる。</p> <p>○小児医療の充実を図るため、急性疾患を中心に幅広く対応するとともに、循環器系疾患や腎疾患、血液疾患、腫瘍疾患などの高度専門医療の提供に取り組む。（堺）</p> <p>○病院前救護及び病院間搬送において、より安全で質の高い救急医療を提供するため、ドクターカーの活用に努める。（堺）</p> <p>○救急専任医師の増員をはじめ、必要な職員体制の確保を図る。（京都）</p> <p>○新病院において、救命救急センターに、手術可能な初療室やCT撮影室、屋上に設置したヘリコプターの場外離着陸場と手術部門に直結した緊急エレベーター等を整備するなど、救急医療体制の充実を図る。（神戸）</p> <p>○新館において、救命救急部門の拡張、専用処置室の確保、集中治療室の増床、ヘリポートの整備等、施設面で充実を図る。（京都）</p>	<p><b>(2) 周産期医療</b></p> <p>○NICU患者者数[実績値（人）]（神戸・京都）</p> <p>○ハイリスク妊婦対応[実績値（件）]（大阪）</p> <p>○超低出生体重児対応[実績値（件）]（大阪）</p> <p><b>(3) 小児救急を含む救急医療</b></p> <p>○救急外来患者数[実績値（人）]（神戸）</p> <p>○救急入院患者数[実績値（人）]（神戸）</p> <p>○救急搬送件数 [実績値（件）・目標値（件）] （福岡・京都・堺・大阪）</p> <p>○救急応需率 [実績値（%）・目標値（%）]（京都・岡山）</p>
項目		医療センター																		
	平成29年度実績																			
母体搬送件数	112件																			
NICU受入患者数	2,009件																			
項目	八幡病院																			
	平成29年度実績																			
救急車応需率	96.3%																			
救急受入件数	3,567件																			
救急患者手術件数	306件																			
小児救急ウォークイン患者数	29,509人																			

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																																								
<p><b>(4) 災害時における医療</b></p> <p>ア 八幡病院において、市の防災計画や北九州市医師会の医療救護計画に基づき、市及び北九州市医師会の指示の下、施設や設備面の機能を活かし、市内の「災害拠点病院」の統括病院としての役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害発生時には院内に災害医療・作戦指令センター（DMOC）を設置し、関係機関と連携して医療支援を行う。</li> <li>○災害医療研修センター（DMEC）において、災害時に迅速かつ効果的な医療救護活動ができる人材を育成する。</li> <li>○災害医療コーディネーターが派遣される施設として、北九州地域の災害医療に対応する。</li> <li>○県内最大規模の屋上ヘリポートを活かし、広域から傷病等患者の受け入れを行うとともに、海上保安庁と連携し水難事故に対応する。</li> <li>○隣接する八幡薬剤師会と連携し、災害時に迅速かつ十分な薬品供給体制を構築する。</li> </ul> <p>イ 医療センター、八幡病院において、「災害拠点病院」としての役割を果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害拠点病院として、災害発生時には24時間体制で災害疾病者の受入れ及び搬出、被災病院、避難所・救護所等への支援を行うとともに、被災地に災害派遣医療チーム（DMAT）の派遣を行う。</li> </ul> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="255 1062 1389 1488"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="3">日本DMAT登録隊員数</td> <td>医師</td> <td>2人</td> <td>医師</td> <td>5人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>2人</td> <td>看護師</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>1人</td> <td>業務調整員（薬剤師）</td> <td>2人</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">福岡県DMAT登録隊員数</td> <td>医師</td> <td>2人</td> <td>医師</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td>看護師</td> <td>8人</td> <td>看護師</td> <td>3人</td> </tr> <tr> <td>業務調整員</td> <td>6人</td> <td>業務調整員（臨床検査技師）</td> <td>1人</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">DMAT等派遣回数（人数）</td> <td>平成28年度</td> <td>1回（4人）</td> <td>平成28年度</td> <td>3回（11人）</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1回（5人）</td> <td>平成29年度</td> <td>1回（3人）</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター		八幡病院		日本DMAT登録隊員数	医師	2人	医師	5人	看護師	2人	看護師	4人	業務調整員	1人	業務調整員（薬剤師）	2人	福岡県DMAT登録隊員数	医師	2人	医師	1人	看護師	8人	看護師	3人	業務調整員	6人	業務調整員（臨床検査技師）	1人	DMAT等派遣回数（人数）	平成28年度	1回（4人）	平成28年度	3回（11人）	平成29年度	1回（5人）	平成29年度	1回（3人）	<p><b>(4) 災害時における医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○新病院においては、免震構造の導入や災害活動スペースの設置などを行い、災害拠点病院として自然災害及び大規模事故災害などに対しても機能を十分に発揮し、迅速な対応が行える施設を整備する。（神戸）</li> <li>○災害現場や他の医療機関からの搬送を行うために、新館屋上にヘリポートを整備する。（京都）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害拠点病院として、地震や台風等の自然災害、大規模火災等の都市災害に備え、自家発電設備等のライフライン機能の維持、医薬品の備蓄等を行い、災害時に、迅速かつ適切な医療提供ができる体制を確保する。（広島）</li> <li>○市外における大規模災害の発生時に援助要請に応えられるよう、災害医療派遣チーム（DMAT）を編成し、訓練を継続する。（京都）</li> <li>○災害発生時に備え、非常発電機、無停電装置、衛星携帯電話などの諸設備の維持管理を行うとともに、医薬品、医療資器材、水、食料などを備蓄し、災害時においても迅速に医療活動ができる体制を維持する。（堺）</li> </ul>	<p><b>(4) 災害時における医療</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○災害訓練回数[実績値（回）]（神戸・堺）</li> <li>○災害訓練回数[実績値（回）]（神戸）</li> <li>○DMAT派遣回数[実績値（件）]（神戸）</li> <li>○DMAT訓練回数[実績値（回）]（神戸）</li> </ul>
項目	医療センター		八幡病院																																							
日本DMAT登録隊員数	医師	2人	医師	5人																																						
	看護師	2人	看護師	4人																																						
	業務調整員	1人	業務調整員（薬剤師）	2人																																						
福岡県DMAT登録隊員数	医師	2人	医師	1人																																						
	看護師	8人	看護師	3人																																						
	業務調整員	6人	業務調整員（臨床検査技師）	1人																																						
DMAT等派遣回数（人数）	平成28年度	1回（4人）	平成28年度	3回（11人）																																						
	平成29年度	1回（5人）	平成29年度	1回（3人）																																						



中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標									
<p>ウ 災害時における医療提供については、病院自体が被災することも想定して対応策を準備する。</p> <p>○医療センターにおいては、業務継続計画（BCP）を策定し、災害時には、病院機能を維持した上で、すべての患者に医療を提供できるよう努める。</p> <p>ただし、災害拠点病院としての機能を果たすためには、免震構造、ライフライン機能の維持、災害活動スペース等を備えることが望ましいが、現病院の施設、設備では十分でないことから、施設の老朽化対策に合わせて、将来的な施設や設備のあり方について検討していく。</p> <p>○八幡病院においては、非常用電源（3日分）や備蓄資材（食糧・飲料水3日分、医薬品7日分）を確保し、災害時においても病院機能を維持するとともに、全ての患者に医療を提供できるよう、業務継続計画（BCP）を策定し、適切に運用する。</p> <p><b>2 各病院の特色を活かした医療の充実</b></p> <p>政策医療に加え、各病院の特色を活かした高度で専門的な医療を提供する。</p> <p><b>(1) 医療センター</b></p> <p>ア がん医療について、地域がん診療連携拠点病院として、集学的治療及び標準的治療等の提供体制の充実を図るとともに、がん患者の身体的苦痛や精神心理的苦痛、社会的な問題等に対応できる体制を整備し、高度で専門的な医療を提供する。</p> <p>また、がんゲノム中核拠点病院との情報共有・連携体制の構築に努め、がんゲノム医療連携拠点病院としてがん医療の充実を図る。</p> <p>○ロボット支援下手術による低侵襲外科手術の実施するため、手術支援ロボットの導入を検討する。</p> <p>○定位放射線治療や強度変調放射線治療等の高度な放射線治療を提供するため、リニアックの更新を検討する。</p> <p>○高精細な画像によって診断能力が向上し、より確かな診断を迅速に提供するため、磁気共鳴コンピュータ断層装置（MRI 3.0T）の増設を検討する。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="278 1461 1252 1692"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>がん患者数</td> <td>4,935人</td> </tr> <tr> <td>化学療法件数</td> <td>17,140件</td> </tr> <tr> <td>放射線治療件数</td> <td>12,179件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	平成29年度実績	がん患者数	4,935人	化学療法件数	17,140件	放射線治療件数	12,179件	<p>○非常電源や水源の確保など災害時に必要となる施設・機器の更新や維持管理を行うとともに、医薬品や医療資器材、食料の必要な備蓄等を行う。（静岡）</p> <p>○災害発生時等に万全な対応を図ることができるように院内防災マニュアルの整備や防災訓練を行うとともに、必要物品等の確保に努める。（福岡）</p> <p><b>(1) 医療センター（がん）</b></p> <p>○がん治療については、高水準の手術や治療の実施により、患者のQOL（生活の質）の向上に取り組むとともに、再発予防を含めた化学療法や、市民病院群との連携による放射線治療の充実を図るなど、集学的治療に取り組む。（神戸）</p> <p>○最適な治療を行えるよう外科的手術、放射線治療、化学療法、血液がんに対する造血幹細胞移植、緩和ケアの提供等幅広いがん治療の提供体制を確保するため、手術室の増設、外来化学療法室の拡充、無菌室の充実等に取り組む。（京都）</p> <p>○手術支援ロボット「ダヴィンチ」による前立腺がん手術以外への新たな展開、「リニアック」による放射線治療の実施</p> <p>○高精度な位置決めにより照射を正確に行うことができる放射線治療機器IGRTを新設する。（大阪）</p> <p>○PET-CTの導入により画像診断の充実を図るなど、がん診療体制を強化していく。（静岡）</p> <p>○射線治療装置（リニアック）を用いた高精度照射（定位照射、IMRT、VMAT）に継続して取り組む等、全国有数の放射線治療の拠点を目指す。（京都）</p> <p>○病理診断については、複数の病理医及び複数の細胞検査士を継続して配置し、引き続き、迅速かつ精度の高い診断を行う。（京都）</p> <p>○がん診療連携医の拡充やがん診療地域連携クリニカルパスの適用拡大に取り組む。（堺）</p> <p>○がんの現状や最新のがん診療等について、市民公開講座の開催など、市民への啓発事業に取り組む。（堺）</p> <p>○がんに関する様々な情報を病院内の医療情報サロンやホームページ等で提供するとともに、患者やその家族が定期的に情報交換・交流できる場を提供する。（広島）</p>	<p><b>(1) 医療センター（がん）</b></p> <p>○がん入院患者数[実績値（人）]（静岡・岡山・堺）</p> <p>○がん退院患者数[実績値（人）]（神戸・静岡）</p> <p>○外来化学治療数[実績値（人）]（神戸・京都・堺）</p> <p>○外来化学治療数[目標値（件）]（京都・堺）</p> <p>○放射線治療数[実績値（人）]（神戸・堺）</p> <p>○放射線治療数[目標値（件）]（堺）</p> <p>○がん手術件数[実績値（件）]（静岡）</p> <p>○がん診療地域連携クリニカルパス連携医（診療所）数[実績値（人）]（堺）</p>
項目		医療センター									
	平成29年度実績										
がん患者数	4,935人										
化学療法件数	17,140件										
放射線治療件数	12,179件										

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標						
<p>イ がん患者や家族の支援機能を充実させる。</p> <p>○がん看護外来を充実させるなど、がん患者の支援を強化するとともに、がん患者や家族が意思決定しやすい体制づくりに努める。</p> <p>ウ がん医療に関する地域医療機関との連携の強化に努める。</p> <p>○インターネットでカルテの閲覧やCT・MRIの予約ができる「連携ネット北九州」の活用を促進する。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 716 1246 856"> <thead> <tr> <th data-bbox="270 716 747 762">項目</th> <th data-bbox="747 716 1246 762">医療センター</th> </tr> <tr> <th data-bbox="270 762 747 808"></th> <th data-bbox="747 762 1246 808">平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td data-bbox="270 808 747 856">利用件数</td> <td data-bbox="747 808 1246 856">513件</td> </tr> </tbody> </table> <p>エ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <p>○生活習慣病に対応するため、地域医療機関と連携し、糖尿病や脳卒中、循環器疾患、代謝疾患等に対応していくため、医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、検査技師でのチーム医療が提供できるように体制を強化する。</p> <p>○膠原病や甲状腺疾患といった地域医療提供体制の中で十分な対応が難しい医療の提供に努める。</p> <p>○肩・肘関節疾患、スポーツ障害・脊椎疾患に対応するため、低侵襲で早期退院が可能な脊椎内視鏡手術等の脊椎手術を実施する。</p> <p>○せん妄や認知症に対応するため、もの忘れ外来の開設や常勤精神科医の採用に取り組む。</p> <p>○市立病院として、市民のためのセーフティネットの役割を果たすよう努める。</p>	項目	医療センター		平成29年度実績	利用件数	513件	<p>○市民のためのセーフティネット機能を果たすため、診療体制を充実させ、市民に必要とされる医療、市内の医療提供体制の中で十分な対応が難しい医療の提供に努める。（岡山）</p>	
項目	医療センター							
	平成29年度実績							
利用件数	513件							

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標							
<p><b>(2) 八幡病院</b></p> <p>ア 小児医療について、「小児救急・小児総合医療センター」を中心に、診療機能の充実を図る。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○専門性の高い小児科医の確保や小児集中治療室（P I C U）・無菌室の整備等により、「救急・集中治療」「児童虐待とその家族」「血液・腫瘍性疾患」「神経疾患・てんかん、医療的ケア児」に係る専門医療の充実に取り組む。</li> <li>○小児科専門医の基幹研修施設として、人材育成を通じて、診療機能の強化に取り組む。</li> </ul> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 596 1246 781"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>小児科患者数（外来）</td> <td>51,681人</td> </tr> <tr> <td>小児科患者数（入院）</td> <td>34,156人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 小児医療に関する障害者や家族に対する医療面での支援の充実に取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○福岡県及び北九州市が実施する「小児慢性特定疾病児童等レスパイト支援事業」に参加し、小児慢性特定疾病児童等を一時的に預かること等で患者とその家族が安心して地域で療養生活を送れるよう支援する。</li> </ul> <p>ウ その他地域の医療状況を踏まえ、市立病院として必要とされる医療を提供する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○消化器・肝臓病センターを内科・外科・放射線科等の医師、薬剤師及び看護師等で横断的に組織化し、生活習慣や食生活の変化に伴い急増する消化器・肝臓病疾患に対して最新・総合的な医療を提供する。</li> <li>○心不全センターを内科・循環器内科・形成外科等の医師、リハビリテーションスタッフ、薬剤師及び看護師等で横断的に組織化し、高齢化等に伴い急増する心不全患者に専門的な医療を提供するとともに、かかりつけ医療機関・介護施設・在宅との間を取り持つ役割を担うことで、地域全体で心不全患者を支援する体制を構築する。</li> <li>○アメリカでも注目され、実践されている Acute Care Surgery（外傷急性期外科）の北九州市の中心となるべく、ハイブリッドオペレーションルームの機能を駆使して、最先端の医療を提供する。さらに、外傷・形態修復・治療センターを外科・形成外科・整形外科等の医師、リハビリスタッフ及び看護師等で横断的に組織化し、外傷やその他の形態異常に対し機能的・整容的な再建を行うことで、患者のQOL（生活の質）の回復を目指す。</li> <li>○市立病院として、市民のためのセーフティネットの役割を果たすよう努める。</li> </ul>	項目	八幡病院	平成29年度実績	小児科患者数（外来）	51,681人	小児科患者数（入院）	34,156人	<p><b>(2) 八幡病院（小児医療）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小児医療の充実を図るため、急性疾患を中心に幅広く対応するとともに、循環器系疾患や腎疾患、血液疾患、腫瘍疾患などの高度専門医療の提供に取り組む。幅広い症例に対応できるよう、診療機能を拡充するため、医師、看護師をはじめとした医療スタッフの確保及び育成に努める。（堺市）</li> <li>○小児基幹病院としての役割を発揮すべく、小児病棟を増床するとともに、P I C U、小児救急病床を設置していく。（大阪市）</li> <li>○小児心療科において、精神療法等の個人療法やグループで治療を行う集団療法により、不登校や摂食障害、神経症等に対する診療を行う。小児皮膚科において、小児科のアレルギー外来と連携し、アトピー疾患専門医による診療を行う。（広島市）</li> </ul> <p>○市民のためのセーフティネット機能を果たすため、診療体制を充実させ、市民に必要なとされる医療、市内の医療提供体制の中で十分な対応が難しい医療の提供に努める。（岡山）</p>	<p><b>(2) 八幡病院（小児医療）</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○小児外来患者数[実績値（人）]（神戸・堺・静岡）</li> <li>○小児入院患者数[実績値（人）]（神戸・堺・静岡）</li> <li>○小児救急患者数（外来）[実績値（人）]（神戸）</li> <li>○小児救急患者数（入院）[実績値（人）]（神戸）</li> </ul>
項目		八幡病院							
	平成29年度実績								
小児科患者数（外来）	51,681人								
小児科患者数（入院）	34,156人								

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標								
<p><b>3 医療の質の確保</b></p> <p><b>(1) 人材の確保・育成</b></p> <p>ア 医療従事者の養成機関との連携を図るとともに、柔軟で多様な職員採用により、医師をはじめとする優秀な医療スタッフの確保に努めるとともに、医療スタッフが長く働き続けることができる職場環境の整備に努める。</p> <p>○医師については、大学等関係機関との連携強化や教育研修を充実させ、医師の負担軽減となる医師事務作業補助者を配置する等、医師が働きやすい環境づくりを行う。</p> <p>また、女性医師が安心して就業の継続や復職ができる環境の整備を行う。</p> <p>○看護師については、計画的に安定した優秀な人材を確保するため、看護学校の学生に対する充実した教育や実習を提供等することにより、卒業生の入職率を高める。</p> <p>また、チーム医療を推進し、看護業務に専念できる環境を整備する。</p> <p>さらに、認定看護師等の資格取得に際して、病院として十分なバックアップをするとともに、その専門性が発揮できるような勤務体制を構築する。</p> <p>○医療技術職については、柔軟な採用制度の下、経験者を含めた多様な職種の人材確保に努める。</p> <p>また、資格取得等の奨励・支援を行い、学会発表等の参加機会を確保できるよう配慮する。</p> <p>○事務職員については、プロパー化を進めるとともに、医療マネジメントができる事務職員を育成するため、院内教育の充実を図り、資格取得の支援に加え、セミナーや学会発表等の学習機会を提供する。</p> <p>また、事務職員の総合力を強化するため、定期的な部署間の異動等、計画的な育成に取り組む。</p> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="276 1213 1249 1354"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>看護実習受入数</td> <td>357人</td> <td>125人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	看護実習受入数	357人	125人	<p><b>3 医療の質の確保</b></p> <p><b>(1) 人材の確保・育成</b></p> <p>○広報活動を強化し、人材の確保に努めるとともに、地方独立行政法人の特徴を生かし、従来の定数管理や職員募集の枠組みにとらわれず、両病院にとって真に必要な能力・知識を有する職員を確保する。（京都市）</p> <p>○市民病院として医療機能の維持・向上を図るため、人材の「確保」「育成」「定着」を3本柱に優秀な人材の確保に取り組む。（大阪）</p> <p>○優れた看護師及び医療技術者を確保するため、関係教育機関等へ積極的な情報提供を行うなど、連携強化に取り組む。（堺）</p> <p>○業務の量や質に応じた適切な人員配置を行い、診療・看護体制の充実や医療スタッフの負担軽減を図る。（広島）</p> <p>○事務職員については、病院経営に関する知識・経験を有する人材を計画的に採用し、病院経営をより専門的かつ実践的に行える体制を整備する。（岡山）</p> <p>○年功による昇給制度の見直し及び業務内容に応じた処遇の検討、優秀な退職職員に対する柔軟な再雇用制度の創設などを検討する。（大阪）</p> <p>○新規採用に加え、経験者採用の拡大、退職者の再任用・再雇用の活用などにより、迅速、柔軟な人材確保を進める（広島）</p> <p>○多様な勤務時間、勤務シフトを導入し、より幅広く必要な人材の確保に取り組む。（広島）</p> <p>○2交代制や短時間勤務など柔軟で多様な勤務体系を検討するなど、働きやすい環境づくりを進め、看護体制の充実に必要な人員の確保に努める。（福岡市）</p> <p>○質の高い看護職員を確保するため、若年層の看護職員の処遇について、現行水準からの改善を行う。医療技術職や診療情報管理士・医療情報技師など優れた専門職の育成や確保に向けて支援する制度の構築を図る。（神戸市）</p>	<p><b>3 医療の質の確保</b></p> <p><b>(1) 人材の確保・育成</b></p> <p>○常勤看護師離職率[実績値（%）]（福岡）</p> <p>○常勤看護師離職率[目標値（%）]（福岡）</p> <p>○研修医・医学生への研修回数[実績値（人）]（岡山）</p> <p>○研修医・医学生への研修回数[目標値（人）]（岡山）</p>
項目		医療センター	八幡病院							
	平成29年度実績	平成29年度実績								
看護実習受入数	357人	125人								

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																															
<p>イ 特に、医師の確保にあたっては、大学医局との連携強化、臨床研修の充実等に努める。</p> <p>○大学医局等からの医師確保、病院運営への協力等に向けて、関係大学との連携強化の仕組みづくりに取り組む。</p> <p>○病院機能の特性を生かした魅力ある臨床研修プログラムや専門研修プログラムの充実、指導体制の整備により、病院の将来を担う医師の育成に努める。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 579 1249 856"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門医資格取得数</td> <td>167件</td> <td>95件</td> </tr> <tr> <td>指導医資格取得数</td> <td>140件</td> <td>62件</td> </tr> <tr> <td>初期臨床研修医</td> <td>7人</td> <td>4人</td> </tr> <tr> <td>後期臨床研修医</td> <td>23人</td> <td>10人</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 医療スタッフの専門性や医療技術向上のため、各専門分野における医療スタッフの資格取得を支援する制度の充実努めるとともに、先進的な事例や取組みを習得できる教育研修制度を充実させる。</p> <p>○医療センターにおいては、習熟レベルに応じた研修プログラムの充実と教育担当者の配置、研修体系の一元管理の整備など計画的な人材育成の推進と知識・技術の向上に取り組む。</p> <p>特に、がん看護に特化した専門看護師の育成と高い臨床推論力と病態判断力を持って急性期医療、地域医療に貢献できる特定行為研修を修了した認定看護師の育成に取り組む。</p> <p>○八幡病院においては、今後の高齢化の進展を見据え「慢性心不全看護」「慢性呼吸器疾患看護」の資格取得を目指すとともに、「感染管理」「皮膚・排泄ケア」の資格取得者の増員に取り組む。</p> <p>また、院内では、看護師の専門性向上のため、経験年数別・役割別・職種別の研修を実施するとともに、他職種についても新たな研修制度の構築に取り組む。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1472 1249 1707"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績値</th> <th>平成29年度実績値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>専門看護師</td> <td>1人</td> <td>0人</td> </tr> <tr> <td>認定看護師</td> <td>28人</td> <td>13人</td> </tr> <tr> <td>診療情報管理士数</td> <td>5人</td> <td>3人</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	専門医資格取得数	167件	95件	指導医資格取得数	140件	62件	初期臨床研修医	7人	4人	後期臨床研修医	23人	10人	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績値	平成29年度実績値	専門看護師	1人	0人	認定看護師	28人	13人	診療情報管理士数	5人	3人	<p>○高度急性期医療の水準を維持・向上させるため、大学等関係機関との連携の強化や教育研修の充実により、優秀な医師の育成、確保に努める。(京都)</p> <p>○臨床研修医においては、幅広い総合的な診療能力を育み、全人的な医療を推進することのできる医師を育成するため、教育研修制度や研修指導体制の充実努める。(堺)</p> <p>○臨床研修医にとって魅力ある臨床研修プログラムの実施により、優秀な臨床研修医を十分確保する。</p> <p>○医師の負担の軽減により、医師確保と定着化を促進するため、看護師、医療技術職、医師事務作業補助者（医療クラーク）などの医師の支援体制を強化するとともに、医師の増員を図る。(京都)</p> <p>○処遇や福利厚生改善、育児・子育て支援等の働きやすい環境づくりを行うなど、優れた医師の確保に努める。(福岡)</p> <p>○高度急性期病院としての医療機能を最大限に発揮するため、専門研修への参加機会の拡充、専門性向上のための資格取得等の奨励・支援体制の充実等により、専門性の高い、優秀な医療専門職を確保する。(京都)</p> <p>○専門看護師や認定看護師等の資格取得を奨励・支援する体制を整えるなど、教育・研修システムを整備する。(福岡)</p> <p>○緩和療法エキスパート認定、静脈注射実施認定、学生指導リーダー認定などの独自の認定制度や看護研修発表会、習熟レベルに応じた臨床実践能力向上のための計画的な教育及び育成に係る取組を継続して実施する。(京都)</p> <p>○教育研修センターを新たに設置し、専任担当者による院内外の教育・人材育成に関わる業務について一元管理のもと、臨床研修プログラムの改善及び充実を図るなど教育研修体制を整備する。(岡山)</p> <p>○病院事務に関する専門研修への参加、各市立病院の事務職員同士の研修や情報交換を通じて事務職員の専門性の向上を図る。(広島)</p>	<p>○専門医延人数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○指定医延人数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○専門看護師数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○認定看護師数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○専門薬剤師数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○診療情報管理士数[実績値(人)](神戸)</p> <p>○医療情報技師数[実績値(人)](神戸)</p>
項目		医療センター	八幡病院																														
	平成29年度実績	平成29年度実績																															
専門医資格取得数	167件	95件																															
指導医資格取得数	140件	62件																															
初期臨床研修医	7人	4人																															
後期臨床研修医	23人	10人																															
項目	医療センター	八幡病院																															
	平成29年度実績値	平成29年度実績値																															
専門看護師	1人	0人																															
認定看護師	28人	13人																															
診療情報管理士数	5人	3人																															

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																			
<p><b>(2) 医療の質の確保、向上</b></p> <p>ア 医療の多様化・複雑化に対応するため、医療スタッフが診療科や職域を越えて連携できる「チーム医療」の推進に取り組む。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 468 1299 919"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>医療チーム編成状況</td> <td>緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理</td> <td>早期離床・リハビリテーション 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 良質な医療を効率的に提供するため、クリニカルパスの活用等による医療の標準化に取り組む。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1157 1249 1346"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>クリニカルパス件数</td> <td>185件</td> <td>127件</td> </tr> <tr> <td>クリニカルパス適用率</td> <td>22.4%</td> <td>18.1%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 医療需要の変化や医療の高度化に的確に対応するため、法人の経営状況を踏まえつつ、高度な医療機器の整備・更新等を計画的に進める。</p> <p>○医療センターにおいては、患者への低侵襲な手術を推進するため、手術支援ロボットの導入を検討するとともに、「リニアック」を活用し、患者への負担が少ない放射線治療を推進する。</p> <p>○八幡病院においては、「ハイブリッドオペレーションルーム」を活用し、外傷急性期外科疾患に対応するとともに、小児も含めた患者への低侵襲な手術を推進するため、「PICU・ICU」を活用し、重症患者の診療体制をより強化する。</p>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	医療チーム編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理	早期離床・リハビリテーション 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	クリニカルパス件数	185件	127件	クリニカルパス適用率	22.4%	18.1%	<p><b>(2) 医療の質の確保、向上</b></p> <p>○個々の患者の病状や、緩和ケア、褥瘡対策、呼吸ケア、栄養サポート等の課題に対応するため、医療スタッフが診療科や職種を越えて連携し、専門的、総合的な医療を提供するチーム医療を推進する。（広島）</p> <p>○各医療専門職、各診療科が有機的に連携し、総合的な診療体制を構築することにより、栄養サポートチーム、呼吸ケアチーム、褥瘡対策チーム、感染対策チーム、緩和ケアチームなどを設置する。（京都）</p> <p>○チーム医療の中心的役割を果たす医療専門職を積極的に養成する。（京都）</p> <p>○学会の診療ガイドライン等に基づいたクリニカルパスを作成し、クリニカルパスの積極的な活用に取り組むとともに、バリエーション分析等を行うことにより、医療の質の改善、向上及び標準化を図る。（神戸）</p> <p>○クリニカルパスの活用を拡大するとともに、既存のクリニカルパスを適時に見直し、良質な医療を効率的かつ安全、適正に提供する。（堺）</p> <p>○DPCによる診療情報データの活用により、同一疾患の診療行為について他病院との比較を行い、医療の質の向上と標準化に努める。（堺）</p> <p>○医療需要の変化や医療の高度化に対応し、各病院の医療水準の維持、向上につながる医療機器の計画的な整備・更新を行う。（広島）</p> <p>○地域の疾病動向や患者ニーズ、医療機器の稼働状況や耐用年数、新たな医療機器の開発状況、他の医療機関における機器の整備の状況などを考慮して、医療機器の整備計画を策定する。（福岡市）</p> <p>○高額な医療機器や設備の整備に当たっては、整備の目的や需要予測、稼働目標を年度計画において公表する。（福岡）</p> <p>○手術台と血管撮影装置を組み合わせたハイブリッド手術機器や、医療ロボットダビンチを導入し、患者への低侵襲な手術を推進する。（大阪）</p>	<p><b>(2) 医療の質の確保、向上</b></p> <p>○クリニカルパス数[実績値（人）]（神戸・岡山）</p> <p>○クリニカルパス数[目標値（人）]（神戸・岡山）</p> <p>○クリニカルパス適用率 [実績値（%）]（福岡・堺・広島・大阪）</p> <p>○クリニカルパス適用率 [目標値（%）]（福岡・堺・広島・大阪）</p>
項目		医療センター	八幡病院																		
	平成29年度実績	平成29年度実績																			
医療チーム編成状況	緩和ケア 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理	早期離床・リハビリテーション 認知症ケア 感染防止対策 抗菌薬適正使用支援 栄養サポート 医療安全管理 呼吸ケアサポート 褥瘡（じょくそう）管理																			
項目	医療センター	八幡病院																			
	平成29年度実績	平成29年度実績																			
クリニカルパス件数	185件	127件																			
クリニカルパス適用率	22.4%	18.1%																			

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																														
<p>エ その他、医療の質の確保、向上に向けて、病院機能評価等の第三者機関による評価制度を積極的に活用するとともに、クリニカルインディケータ（臨床評価指標）等の分析・評価の活用に取り組む。</p> <p>○医療センターにおいては、がんゲノム医療連携拠点病院として、十分にその機能を発揮していくため、国際規格ISO15189の認定を目指す。</p> <p><b>(3) 医療安全の徹底</b></p> <p>安全で安心な医療を提供するため、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象に関する情報収集・分析を行い、適切な予防策を講じる。</p> <p>○八幡病院において、市保健所と連携して地域感染対策を実践するため、地域医療機関での院内感染発生時の対応や地域医療従事者への教育・研修等を行う。</p> <p>○院内ラウンドや医療安全研修会等を実施し、医療事故や院内感染など医療の安全を脅かす事象の予防に取り組む。</p> <p>○インシデント・アクシデントレポートを適切に分析し、再発防止に努める。</p> <p>○国内外における感知情報の収集に努める。</p> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1136 1389 1325"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>研修等実施回数</td> <td>60回</td> <td>74回</td> </tr> <tr> <td>インシデント・アクシデントレポート提出回数</td> <td>1,450回</td> <td>1,069回</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>(4) 医療に関する調査・研究</b></p> <p>高度で先進的な医療の提供に向けて、医療に関する調査・研究に積極的に取り組む。</p> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1629 1249 1818"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th colspan="2">平成29年度実績</th> <th colspan="2">平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>治験実施件数</td> <td>調査中</td> <td>件</td> <td>調査中</td> <td>件</td> </tr> <tr> <td>公的調査研究件数</td> <td>調査中</td> <td>件</td> <td>調査中</td> <td>件</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	研修等実施回数	60回	74回	インシデント・アクシデントレポート提出回数	1,450回	1,069回	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績		平成29年度実績		治験実施件数	調査中	件	調査中	件	公的調査研究件数	調査中	件	調査中	件	<p>○医療の質に関する客観的なデータとして臨床指標を収集し、国や他の医療機関において公表されている臨床指標のデータとの比較分析を行うことにより、更なる医療の質の向上を図る。(京都)</p> <p>○病院の診療機能を客観的に表す臨床評価指標を設定し、評価、分析及び院内で情報を共有することにより、医療の質の改善及び向上を図る。(神戸)</p> <p>○財団法人日本医療機能評価機構による病院機能評価を受審するなど、第三者機関の評価に基づく医療の質の確保・向上に努める。(大阪)</p> <p>○進歩する医療技術や最新の医療情報に対して、医療スタッフが常に向上心をもって、新たな手技や知識を習得し、先駆的な医療を学ぶことができる職場環境の整備に努める。(堺)</p> <p><b>(3) 医療安全の徹底</b></p> <p>○医療安全管理者及び院内感染管理者を設置し、総合的な医療安全管理体制を強化する。(福岡)</p> <p>○全職員が患者の安全を最優先にして万全な対応を行うことができるように、情報の収集・分析による医療安全対策の徹底及び医療安全文化の醸成に努める。(神戸)</p> <p>○院内の医療安全管理室において、医療安全集中管理ソフトを活用するなど、インシデント及びアクシデントに関する情報の収集及び分析に努め、リスクを回避する方策の立案や、対策実施後の評価等を定期的に討議し、医療事故の再発防止及び予防の徹底を図る。(神戸)</p> <p>○重大な医療事故が発生した場合には、外部の専門家も入った事故調査委員会の中で、事故発生の原因分析と再発防止のための具体策を検証して医療安全の向上に努める。(神戸)</p> <p>○複数の医療職から構成する感染管理チームによる定期的な院内ラウンドを実施して、職員に対するマニュアルの周知徹底・啓発を行う。(神戸)</p> <p>○医療安全管理マニュアルや医療安全の要点をまとめたスタッフハンドブックを必要に応じて改訂する。(京都)</p> <p>○医療安全推進月間や医療安全週間の取組として病院全体や各部門ごとに研修会を開催する。(京都)</p> <p>○院内感染に対する効果的な予防対策を、研修会や院内ニュース等で周知するとともに、院内感染防止マニュアルを充実させる。(堺)</p> <p>○医薬品の安全確保のため、薬剤師による入院患者への服薬指導の充実を図る。(神戸市)</p> <p><b>(4) 医療に関する調査・研究</b></p> <p>○高度医療を担う病院として、新薬の開発等に貢献し、治療の効果や安全性を高めるため、積極的に新薬の開発治験に参加する。(福岡)</p> <p>○臨床試験や治験を積極的に推進し、その成果をもとに学会発表や研究論文として発表する。(堺)</p> <p>○治験等の実施に当たっては、患者の意見を尊重するとともに、治験審査委員会等による事前・事後の管理監督を徹底し、安全性や手続の公正性を確保する。(広島市)</p> <p>○職員が意欲的に自主的な研究活動に取り組める環境整備を行うとともに、研究成果を積極的に発表する場を設け、情報発信に努める。(広島)</p>	<p><b>(3) 医療安全の徹底</b></p> <p>○医療安全管理委員会開催件数 [実績値(回)](神戸・静岡)</p> <p>○医療安全研修等開催回数 [実績値(回)](神戸・大阪・静岡)</p> <p>○院内感染症対策委員会開催件数 [実績値(回)](静岡)</p> <p>○院内感染症研修会等開催回数 [実績値(回)](神戸・静岡)</p> <p>○服薬指導件数[実績値(回)](神戸・福岡・大阪)</p> <p><b>(4) 医療に関する調査・研究</b></p> <p>○治験実施件数 [実績値(件)](神戸・堺・大阪・静岡)</p> <p>○治験実施件数 [目標値(回)](神戸・堺・大阪・静岡)</p> <p>○診療試験実施件数[実績値(回)](堺・大阪)</p>
項目		医療センター	八幡病院																													
	平成29年度実績	平成29年度実績																														
研修等実施回数	60回	74回																														
インシデント・アクシデントレポート提出回数	1,450回	1,069回																														
項目	医療センター		八幡病院																													
	平成29年度実績		平成29年度実績																													
治験実施件数	調査中	件	調査中	件																												
公的調査研究件数	調査中	件	調査中	件																												

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																									
<p><b>4 市民・地域医療機関からの信頼の確保</b></p> <p><b>(1) 患者サービスの向上</b></p> <p><b>① 患者目線での病院運営の徹底</b></p> <p>ア 患者や家族のニーズを的確に把握し、市民から信頼される病院を目指す。</p> <p>特に、看護については病室やベッドサイドで看護記録やカンファレンス等を行うセル看護方式やパートナーシップ・ナーシングシステム（PNS）の導入等、可能な限り患者に寄り添う看護の提供に努める。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="276 699 1249 884"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>接遇研修回数</td> <td>2回</td> <td>10回</td> </tr> <tr> <td>参加人数</td> <td>184人</td> <td>260人</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 職員が患者満足度調査等の情報を共有し、病院全体で患者満足度の向上に努める。</p> <p>現在、受付・診察の待ち時間に対する不満が多いことから、待ち時間の短縮に向けて、自動精算機や診察待ち順番表示設備の導入に取り組む。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="290 1173 1377 1358"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成30年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>患者満足度調査結果 (5段階評価平均点)</td> <td>3.8点</td> <td>4.1点</td> <td>4.0点</td> <td>4.2点</td> </tr> </tbody> </table> <p><b>② 快適な院内環境の整備</b></p> <p>ア 院内環境の改善により施設・設備面での快適性を向上に取り組む。</p> <p>○医療センターにおいては、消化器疾患全般について、内科・外科が連携し、よりシームレスで総合的な診療を提供する消化器センターの開設や、婦人科、乳腺内分泌外科を中心とした女性専用病棟の開設等病棟機能の集約化に取り組む。</p> <p>○八幡病院においては、患者や家族がくつろげる中庭やファミリールーム等新たに整備した施設・設備を適切に活用し、より一層の快適性と利便性の向上に取り組む。</p>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	接遇研修回数	2回	10回	参加人数	184人	260人	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績	平成30年度目標	平成29年度実績	平成30年度目標	患者満足度調査結果 (5段階評価平均点)	3.8点	4.1点	4.0点	4.2点	<p><b>(1) 患者サービスの向上</b></p> <p><b>① 患者目線での病院運営の徹底</b></p> <p>○地域の疾病動向や患者ニーズの変化を常に的確に把握し、自治体病院として提供すべき医療の内容を常に検討し、患者の視点を最優先にした医療及びサービスの提供を行う（京都）</p> <p>○職員は、患者が安心して自分の病状や悩みを説明できるよう常に謙虚な姿勢で、患者の病状や痛み、悩みに耳を傾ける（京都）</p> <p>○法人が提供する医療は、疾病への対応だけでなく、患者や家族の苦痛や不安に対して誠意を持って対応する患者中心のサービスの提供であることを職員に徹底する（京都）</p> <p>○市民から信頼される病院であり続けるため、職員一人ひとりが患者の立場に立った接遇の実践ができるよう病院の全職員を対象とした接遇研修を毎年実施する（静岡）</p> <p>○患者満足度調査等の実施にあたっては、市民・患者の視点からテーマを絞り込むなど市民・患者ニーズをより具体的に把握できるよう工夫する（神戸）</p> <p>○コミュニケーションに係る満足度や説明内容の理解度については、定期的に患者・家族にアンケート調査を実施し、これを公表する（京都）</p> <p>○職員の接遇・応対についての研修計画を毎年度策定し、実施するとともに、各部門において、接遇・応対の自己点検を実施する（京都）</p> <p>○患者満足度調査については、職員の接遇に関する調査項目だけでなく、医療サービス全般を対象とした項目とし、年間2回以上定期的に調査を行って結果を公表するとともに、その結果に基づいて必要な改善策を講じる（京都）</p> <p><b>② 快適な院内環境の整備</b></p> <p>○各病院の患者サービス委員会が中心となって、ソフト・ハード両面での改善を進めるとともに、院内コンサートなど患者に安らぎを提供する行事を開催するなど患者へのサービスの質の一層の向上を図る（神戸）</p> <p>○患者や来院者により快適な環境を提供するため、院内清掃を徹底するとともに、院内巡回を定期的実施して施設の改修等を行うなど療養環境の維持・向上に努める（神戸）</p> <p>○患者・家族がゆっくりできるデイルームやプライバシーにも配慮した個室、個室感覚のある多床室を整備するなど療養環境の改善に努める（神戸）</p>	<p><b>(1) 患者サービスの向上</b></p> <p><b>① 患者目線での病院運営の徹底</b></p> <p>○患者満足度調査結果 【実績 (%)】(神戸、福岡、堺、岡山、広島、静岡)</p> <p>○患者満足度調査結果 【目標 (%)】(福岡、堺、岡山、広島、静岡)</p> <p>○患者意見件数【実績 (件)】(静岡)</p> <p>○セカンドオピニオン受付数【実績 (回)】(神戸)</p> <p>○市民向け広報発行回数【実績 (回)】(神戸)</p>
項目		医療センター	八幡病院																								
	平成29年度実績	平成29年度実績																									
接遇研修回数	2回	10回																									
参加人数	184人	260人																									
項目	医療センター		八幡病院																								
	平成29年度実績	平成30年度目標	平成29年度実績	平成30年度目標																							
患者満足度調査結果 (5段階評価平均点)	3.8点	4.1点	4.0点	4.2点																							



中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																
<p>イ 患者や家族の利便性の向上に向けて、自動精算機や診察待ち順番表示設備の導入待ち時間短縮に向けた取り組みを推進する。</p> <p>また、入退院センター等について、メディカルソーシャルワーカー、看護師、事務職員等の人員配置を強化するなど、患者やその家族の支援機能の強化に取り組む。</p>	<p>○外来、検査及び手術の枠の見直しや診療時間を弾力的に運用することにより患者の受入れを円滑に行うなど、待ち時間の短縮や待ち時間の過ごし方について総合的な待ち時間対策に取り組む（神戸）</p> <p>○患者相談窓口業務の充実や市民・患者ニーズや運営体制も踏まえた土曜日等の検査等の実施についての対応に取り組む（神戸）</p> <p>○治療効果を上げるための栄養管理の充実とあわせ、患者の嗜好に配慮した病院給食の提供や保育士による病棟保育の充実に努める（福岡）</p> <p>○医療費の支払におけるクレジットカード、電子マネーの導入について検討するなど、患者の利便性の向上に努める（福岡）</p> <p>○入院手続や術前検査予約等が一箇所ですムーズに行うことができる入院センターの開設など、入院患者の利便性の向上を図る（広島）</p> <p>○ボランティアの協力も得ながら、院内の案内、車椅子の介助など、患者サービスの向上に取り組む（広島）</p>																	
<p><b>③ 患者や市民への情報提供</b></p> <p>ア 診療内容や治療実績等の情報発信に積極的に取り組む。</p> <p>○ホームページや広報誌を通じて、診療内容や治療実績等を積極的に情報発信するとともに、SNS等のソーシャルメディアを積極的に活用する。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1068 1228 1209"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>広報誌等発行回数</td> <td>8回</td> <td>8回</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 市民の健康増進に向けた取り組みを進める。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1375 1228 1516"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成29年度実績</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>市民向け講座等開催件数</td> <td>調査中 回</td> <td>調査中 回</td> </tr> </tbody> </table>	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	広報誌等発行回数	8回	8回	項目	医療センター	八幡病院	平成29年度実績	平成29年度実績	市民向け講座等開催件数	調査中 回	調査中 回	<p><b>③ 患者や市民への情報提供</b></p> <p>○各診療科の特色や代表的な疾患の治療方針など市民病院の取組及び地域医療機関との連携等について、わかりやすくホームページに掲載するとともに、患者向け広報誌の定期的発行や市民・患者向け教室の開催等を行う（神戸）</p> <p>○患者やその家族、市民に向けて、病院の役割・機能、診療実績、専門医の紹介等の診療情報、財務諸表等の経営情報、疾病予防や健康に関する情報等についてホームページや広報誌等を活用してわかりやすく発信する（岡山）</p>	
項目		医療センター	八幡病院															
	平成29年度実績	平成29年度実績																
広報誌等発行回数	8回	8回																
項目	医療センター	八幡病院																
	平成29年度実績	平成29年度実績																
市民向け講座等開催件数	調査中 回	調査中 回																

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																																																					
<p><b>(2) 地域医療機関等との連携</b></p> <p>ア 地域医療機関のニーズと役割を把握し、地域医療機関に信頼される病院を目指す。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療機関へのヒアリングやアンケートの実施により、信頼の確保に努めるとともに、医療連携室の機能強化により、急性期医療を要する患者の地域医療機関からの紹介と慢性・軽症患者の地域医療機関への逆紹介を推進する。</li> <li>○福岡県地域医療構想調整会議での議論や地域の医療機関のニーズを踏まえ、適切な機能分化・役割分担の構築に努める。</li> </ul> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 646 1389 835"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>紹介率</td> <td>86.6%</td> <td>90.0%</td> <td>67.1%</td> <td>70.0%</td> </tr> <tr> <td>逆紹介率</td> <td>68.0%</td> <td>80.0%</td> <td>96.7%</td> <td>100.0%</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 地域医療支援病院として求められる役割を着実に果たす。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療支援病院として、紹介患者に対する医療提供、医療機器の共同利用を通じて地域医療を担うかかりつけ医等に対する支援を行う。</li> <li>○地域の医療機関を対象に地域連携会を中心とした情報交換体制の充実を図る。</li> </ul> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1108 1389 1436"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>共同利用件数（高額医療機器）</td> <td>1,433件</td> <td>1,500件</td> <td>798件</td> <td>1,000件</td> </tr> <tr> <td>共同利用件数（開放病床）</td> <td>51件</td> <td>60件</td> <td>74件</td> <td>200件</td> </tr> <tr> <td>地域医療従事者研修実施回数</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>12回</td> <td>20回</td> </tr> <tr> <td>登録医療機関件数</td> <td>615件</td> <td>620件</td> <td>221件</td> <td>250件</td> </tr> <tr> <td>地域医療連携会議参加人数</td> <td>640人</td> <td>—</td> <td>377人</td> <td>—</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 市立病院が一つの病院事業体として、効率的・効果的な病院運営を行うため、医療センターと八幡病院の機能分化や連携を深める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療提供機能の相互支援の充実に向けて、各病院の専門分野に関する知識の習得のため、多職種における人事交流を推進する。</li> <li>○特に、市立病院の専門分野においては、相互に患者の紹介等を優先的に行う。</li> <li>○高度医療機器の共同利用や、診療・検査等における医療提供機能の相互支援に努める。</li> </ul>	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標	紹介率	86.6%	90.0%	67.1%	70.0%	逆紹介率	68.0%	80.0%	96.7%	100.0%	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標	共同利用件数（高額医療機器）	1,433件	1,500件	798件	1,000件	共同利用件数（開放病床）	51件	60件	74件	200件	地域医療従事者研修実施回数	12回	12回	12回	20回	登録医療機関件数	615件	620件	221件	250件	地域医療連携会議参加人数	640人	—	377人	—	<p><b>(2) 地域医療機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療機関のニーズを把握し、地域医療機関との連携及び協力の体制の充実を図り、役割に応じた患者の紹介・逆紹介を行うとともに、高度医療機器の共同利用等の促進に取り組むなど、これまで培ってきた地域医療機関との連携や逆紹介システムの活用をもとに病診・病病連携をより一層推進する。（神戸）</li> <li>○各診療科の医師と地域医療機関の医師が顔の見える連携を図り、信頼関係を構築することで市街地西部の中核病院としての役割を果たす。（神戸）</li> <li>○職員の増員等により、地域の医療機関等との連携を推進する医療支援センター等の体制を強化する。（広島）</li> <li>○市域における看護師・薬剤師等医療スタッフの資質の向上を図るため、実習の受入れ等を積極的に行う。（大阪）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療機関等が参加する研修及び研究会の開催、講師派遣などを通じて顔の見える連携に取り組み、医師会等と協力して患者ケアの連続性を重視し、質の高い医療の提供を行うことで地域医療に貢献する。（神戸）</li> <li>○地域医療機関からの紹介検査や開放型病床の利用を促進するとともに、地域の研究会への参加要請等に積極的に対応するなど、地域の医療水準の向上に貢献する。（堺）</li> <li>○相互啓発や診療内容等の情報共有を図るため、地域医療機関を対象とした臨床カンファレンス、臨床病理検討会などのオープンカンファレンスの充実に取り組む。（堺）</li> <li>○地域連携クリティカルパスの適用を推進するとともに、医療ネットワークへの参加によるカルテ情報の共有などにより、地域医療機関との連携をより一層推進する。（岡山）</li> <li>○地域医療支援病院として地域の医療機関に対する開放病床や検査機器等の共同利用を促進する。（岡山）</li> <li>○一貫性のある医療を提供し、治療効果の一層の向上を図るため、地域連携クリティカルパスの作成・運用の拡大に取り組む。（広島）</li> <li>○地域包括ケアシステムの中で急性期医療を担い、退院後患者が住み慣れた地域で生活していくために、診療所、訪問看護ステーション、ケアマネージャー、在宅介護サービス事業者など多職種の関係者と連携を図る。（静岡）</li> <li>○市関連病院において、現在実施している連携の検証を行い、改善すべき項目を整理するとともに、診療科目の再編も含めた機能の特化を図る。（神戸）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○医療機能に応じて相互に患者の紹介・逆紹介を行うとともに、職員の人事交流も積極的に行うなど、さらに効果的・効率的な連携に取り組む。（神戸）</li> <li>○市立病院が相互に連携し、各病院の医療機能を補完し合い、一つの病院群として、広島市の医療施策上必要な医療を提供するとともに、各病院の役割の見直しや連携強化を進め、効率的・効果的な病院運営を行う。（広島）</li> <li>○市立病院の一体感を促進するため、病院間の人事交流を進める。（広島）</li> <li>○同じ職種同士又は職種を越えて、各病院の職員が協議、交流する場づくりを進め、病院間の連携を推進する。（広島）</li> <li>○病院総合情報システムの更新により、4病院間の診療情報の円滑な伝達や共有化を推進する。（広島）</li> </ul>	<p><b>(2) 地域医療機関等との連携</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○紹介率[実績値(%)] (神戸・福岡・堺・岡山・広島・大阪・静岡)</li> <li>○紹介率[目標(%)] (神戸・福岡・堺・岡山・広島・大阪・静岡)</li> <li>○逆紹介率[実績(%)] (神戸・福岡・堺・岡山・広島・大阪・静岡)</li> <li>○逆紹介率[目標(%)] (神戸・福岡・堺・岡山・広島・大阪・静岡)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地域医療機関向け広報発行回数[実績(回)](神戸)</li> <li>○地域医療機関向け研修会等開催回数[実績(回)] (神戸、福岡、堺、岡山、大阪)</li> <li>○開放病床への登録医数[実績(人)](福岡)</li> <li>○開放病床への登録医数[目標(人)](福岡)</li> <li>○共同病床利用率[実績(%)](大阪)</li> <li>○地域クリニカルパス適用件数[実績(件)] (岡山、大阪)</li> <li>○地域クリニカルパス適用件数[目標(件)](岡山)</li> <li>○看護実習生受入れ数[目標(人)](大阪)</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○市立病院からの紹介患者数[実績(人)](神戸)</li> <li>○市立病院への逆紹介患者数[実績(人)](神戸)</li> <li>○市立病院間の人事交流数[実績(人)](神戸)</li> </ul>
項目		医療センター		八幡病院																																																			
	平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標																																																			
紹介率	86.6%	90.0%	67.1%	70.0%																																																			
逆紹介率	68.0%	80.0%	96.7%	100.0%																																																			
項目	医療センター		八幡病院																																																				
	平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標																																																			
共同利用件数（高額医療機器）	1,433件	1,500件	798件	1,000件																																																			
共同利用件数（開放病床）	51件	60件	74件	200件																																																			
地域医療従事者研修実施回数	12回	12回	12回	20回																																																			
登録医療機関件数	615件	620件	221件	250件																																																			
地域医療連携会議参加人数	640人	—	377人	—																																																			

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																																						
<p><b>第3 業務運営の改善及び効率化に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <p><b>1 収入増加・確保対策</b></p> <p><b>(1) 病床利用率の向上</b></p> <p>政策医療等に関する病床を除く一般病床については、法人全体の営業収支及び経常収支の黒字化を前提とした病床利用率の数値目標を設定し、その目標達成に向けて各病院全体で取り組む。</p> <p>また、病床利用率の数値目標の達成に向けて、診療科毎に数値目標を設定してすべてのスタッフで共有するなど目標管理を徹底するとともに、地域医療機関との連携強化や救急患者の積極的な受入によって患者の確保に努めるほか、ベッドコントロールの効率化による病床利用率の向上に取り組む。</p> <p>○医療センターにおいては、クリニカルパスの整備、早期リハビリテーションの実施等によって在院日数の短縮に取り組むとともに、副院長をトップとして病棟看護師長がベッドコントロールを行う病床マネジメントのための管理体制を構築する。</p> <p>また、外来診察の完全予約制の導入を検討する等、地域医療機関との連携強化により、急性期医療を必要とする患者の受入と急性期を脱した患者の地域医療機関へのシフトを促進することにより、患者の確保に努める。</p> <p>○八幡病院においては、DPCデータ等に基づくベッドコントロールの効率化や多職種による退院支援体制の強化に取り組む。</p> <p>また、小児集中治療室（PICU）やハイブリッドオペレーションルーム等の新たに整備した施設や医療機器を最大限活用するとともに、小児救急・小児総合医療センターにおける専門医療の充実や、地域のニーズを踏まえた消化器・肝臓病センターや心不全センターの運営等、市民に求められる医療の提供を通じて、患者の確保に努める。</p> <p>&lt;関連指標&gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1276 1389 1648"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> <th>平成29年度実績値</th> <th>平成35年度目標値</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td rowspan="2">病床利用率</td> <td>全体</td> <td>75.5%</td> <td>73.8%</td> <td></td> </tr> <tr> <td>感染症・周産期除く</td> <td>80.5%</td> <td>—</td> <td></td> </tr> <tr> <td>外来患者数</td> <td>246,242人</td> <td>調整中</td> <td>130,191人</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>入院患者数</td> <td>146,973人</td> <td>調整中</td> <td>84,345人</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>手術件数</td> <td>3,709件</td> <td></td> <td>1,469件</td> <td></td> </tr> <tr> <td>平均在院日数</td> <td>14.7日</td> <td></td> <td>10.2日</td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>※病床利用率の目標については、医療センター〇〇〇床、八幡病院〇〇〇床をベースに、平成29年度決算時点の収支をもとに算定しており、今後の病床数や収支の状況によって数値が変動する可能性がある。</p>	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績値	平成35年度目標値	病床利用率	全体	75.5%	73.8%		感染症・周産期除く	80.5%	—		外来患者数	246,242人	調整中	130,191人	調整中	入院患者数	146,973人	調整中	84,345人	調整中	手術件数	3,709件		1,469件		平均在院日数	14.7日		10.2日		<p><b>1 収入増加・確保対策</b></p> <p><b>(1) 病床利用率の向上</b></p> <p>○病床管理の一元化による病床利用率のさらなる向上を図る（神戸）</p> <p>○各診療部門や看護部門等の連携による、病床の運用体制を構築し、効率的な病床の運用を実施することで、病床利用率の向上を図る（京都）</p>	<p><b>1 収入増加・確保対策</b></p> <p><b>(1) 病床利用率の向上</b></p> <p>○病床利用率[実績（%）] （神戸・福岡・京都・堺・岡山・広島・大阪・静岡）</p> <p>○病床利用率[目標（%）] （神戸・福岡・京都・堺・岡山・広島・大阪・静岡）</p> <p>○平均在院日数[実績（日）] （福岡・堺・岡山・大阪・静岡）</p> <p>○平均在院日数[目標（日）] （福岡・堺・岡山）</p> <p>○外来延患者数[実績（人）] （神戸・福岡・京都・堺・静岡）</p> <p>○外来延患者数[目標（人）] （神戸・福岡・京都）</p> <p>○入院延患者数[実績（人）] （京都・福岡・京都、堺、静岡）</p> <p>○入院延患者数[目標（人）] （京都・福岡・京都）</p> <p>○新規入院患者数[実績（人）] （神戸・福岡・大阪）</p> <p>○新規入院患者数[目標（人）] （神戸・福岡・大阪）</p> <p>○外来診療単価[実績（件）] （神戸・福岡・京都・堺・大阪）</p> <p>○外来診療単価[目標（件）] （京都・堺・）</p> <p>○入院診療単価[実績（件）] （神戸・福岡・京都・堺・大阪）</p> <p>○入院診療単価[目標（件）] （京都・堺）</p> <p>○手術件数[実績（件）] （神戸・福岡・堺・静岡）</p> <p>○手術件数[目標（件）] （福岡・堺）</p>
項目		医療センター		八幡病院																																				
	平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績値	平成35年度目標値																																				
病床利用率	全体	75.5%	73.8%																																					
	感染症・周産期除く	80.5%	—																																					
外来患者数	246,242人	調整中	130,191人	調整中																																				
入院患者数	146,973人	調整中	84,345人	調整中																																				
手術件数	3,709件		1,469件																																					
平均在院日数	14.7日		10.2日																																					

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標								
<p><b>(2) 適切な診療報酬の確保</b></p> <p>ア 複雑化する診療報酬制度に対応し、診療行為に対する診療報酬を適切に確保するため、専門的知識・経験を有する事務職員をプロパー職員として計画的に採用するとともに、診療情報管理士の資格取得等による事務職員の育成に努めるなど、医療事務の処理能力の強化に取り組む。</p> <p>＜関連指標＞</p> <table border="1" data-bbox="270 562 1371 703"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th>医療センター</th> <th>八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成35年度目標</th> <th>平成35年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>派遣職員から法人職員への切替率</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>イ 全職員が診療報酬制度への理解を深めるため、経営状況や診療報酬制度等に関する職員説明会等の実施に取り組むとともに、医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、診療機能の強化につながる施設基準の取得等、効果的な経営戦略を企画・立案するため、法人全体の事務処理体制の強化に取り組む。</p> <p>また、診療報酬の請求漏れや減点の防止に努めるとともに、未収金の発生防止や効果的な回収策を講じるなど、適切な診療報酬の確保に向けて不断に取り組む。</p>	項目	医療センター	八幡病院	平成35年度目標	平成35年度目標	派遣職員から法人職員への切替率	%	%	<p><b>(2) 適切な診療報酬の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○診療行為に対する診療報酬を確実に収入するため、請求内容の確認や保険者への請求前審査を強化するなど、請求漏れや査定減の防止対策に取り組む（堺）</li> <li>○多様な雇用形態の活用、組織及び人員配置の弾力的な運用などによる新たな診療報酬の確保に加え、寄付等医業外の収入の増収を図る（神戸）</li> <li>○診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築するため、専門的知識・経験を有する者等をプロパー職員として計画的に採用する。（福岡市）</li> <li>○診療報酬の請求漏れや減点の防止に努めるとともに、未収金の発生防止策や回収策を講じて収入を確保する（神戸）</li> <li>○診療報酬請求に係るチェック体制を強化し、請求漏れや査定減を防止するとともに、コンビニ収納等の拡大による未収金発生防止や法的措置も含め、未収金対策の強化に取り組む（福岡）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○診療報酬改定や医療関連法令の改正、高度化、多様化する患者の医療ニーズなど、医療を取り巻く環境変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、診療報酬の確保に努める（堺）</li> <li>○診療報酬改定や医療関連法制の改正、高度化・多様化する患者ニーズなど、医療を取り巻く環境変化に迅速に対応して適切な施設基準の取得を行い、診療報酬の確保に努める（大阪）</li> <li>○未収金発生防止マニュアル及び未収金回収マニュアルに基づく適切な未収金対策を実施する（京都）</li> </ul>	<p><b>(2) 適切な診療報酬の確保</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○査定減比率[実績（%）]（神戸・福岡・大阪）</li> <li>○査定減比率[目標（%）]（福岡）</li> <li>○事務職員のプロパー化[実績（%）]（静岡）</li> <li>○事務職員のプロパー化[目標（%）]（静岡）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○未収金額[実績（円）]（神戸）</li> <li>○未収金徴収率[実績（%）]（堺）</li> <li>○医療費個人負担徴収率[実績（%）]（堺・広島・大阪・静岡）</li> <li>○医療費個人負担徴収率[目標（%）]（堺・広島・大阪・静岡）</li> </ul>
項目		医療センター	八幡病院							
	平成35年度目標	平成35年度目標								
派遣職員から法人職員への切替率	%	%								

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>2 経費節減・抑制対策</b></p> <p><b>(1) コスト節減の推進</b></p> <p>ア コスト節減に向けて、地方独立行政法人制度の特長を活かした柔軟で多様な契約制度の導入に取り組む。</p> <p>契約制度については、医療機器等の調達保守一体契約の導入、器械設備や業務委託の複数年契約の推進、医薬品や診療材料調達に係る価格交渉の徹底等に取り組む。</p> <p>また、コスト節減に向けて、後発医薬品の採用品目数の増加に取り組む。</p> <p>イ 法人全体で業務の抜本的な見直しに取り組む。</p> <p>コスト削減に向けて、専任職員の配置による調達部門における体制強化や医療機器管理への専門技術者の配置等の組織体制の強化に取り組むとともに、清掃や警備等の業務委託や物品調達等については、医療センターと八幡病院で契約の一本化を推進する。</p> <p><b>(2) 医療機器等の有効活用及び計画的な整備</b></p> <p>ア 医療機器等については、費用対効果等を勘案して稼働率の向上に努める。</p> <p>イ 医療機器をはじめとする高額な機械設備や情報システム等の新規導入や更新にあたっては、法人全体で効率的かつ計画的に取り組む。</p> <p>○磁気共鳴コンピュータ断層撮影装置（MR）やX線コンピュータ断層撮影装置（CT）等の高額な機械設備や電子カルテ等の情報システム等については、両病院の規格統一を含めた中長期の新規導入・更新計画を作成する</p>	<p><b>2 経費節減・抑制対策</b></p> <p><b>(1) コスト節減の推進</b></p> <p>○医療材料等の共同購入や、数年契約など多様な契約手法を導入するなど、地方独立行政法人のメリットを生かし、医療サービスの質の維持・向上を図りながら、材料費及び経費の節減に努める（神戸）</p> <p>○医薬品や診療材料の調達に際しては、価格交渉を徹底するとともに、契約の複数年化、複合化や他の医療機関との共同購入などの手法を導入することにより費用の削減を図る（堺）</p> <p>○診療材料等の調達に係る価格交渉の徹底や契約手法及び委託業務の見直し、ジェネリック医薬品の使用拡大等を行い、費用の削減を図る（福岡）</p> <p>○医療上の必要や医療安全に配慮しながら、医薬品の採用品目数の縮減や、後発医薬品の採用品目数の増加に取り組む、材料費の節減を図る（京都）</p> <p>○診療材料等の調達においては、特別目的会社に卸業者との価格交渉等を行わせることにより、民間のノウハウを活用する（京都）</p> <p>○職員給与費については、医療の質の向上や医療安全の確保、患者へのサービス向上などに十分配慮したうえで、適切な取組を進める。職員の適正配置を行い、効率的・効果的な業務執行体制をめざす（大阪）</p> <p>○中期計画の予算の枠の中で、科目や年度間で弾力的な予算執行を行う（神戸）</p> <p>○予算科目及び年度間で弾力的に運用できる会計制度を活用した予算執行を行い、効果的・効率的な事業運営に取り組む（福岡）</p> <p>○高度医療機器のさらなる稼働率の向上を図る（神戸）</p> <p>○計画的な維持修理による施設の長寿命化と投資の平準化、施設運営・保守管理の効率化、既存施設の有効活用などのアセットマネジメントを推進する（福岡）</p> <p>○総合情報システムを整備し、市民病院とせのお病院のカルテ（患者情報）を一元管理することで、両病院での重複管理や重複投資を防止し、経営の効率化はもとより、カルテ共有による医療の質や患者サービスの向上を促進する。（岡山）</p>	<p><b>2 経費節減・抑制対策</b></p> <p><b>(1) コスト節減の推進</b></p> <p>○材料費比率[実績（%）]（神戸・福岡・堺・大阪・静岡）</p> <p>○材料費比率[目標（%）]（神戸・福岡・堺・大阪）</p> <p>○経費比率[実績（%）]（神戸・堺・広島・大阪・静岡）</p> <p>○経費比率[目標（%）]（神戸・堺・広島・大阪）</p> <p>○給与費比率[実績（%）]（神戸・福岡・京都・堺・岡山・大阪・静岡）</p> <p>○給与費比率[目標（%）]（神戸・福岡・京都・堺・岡山・大阪）</p> <p>○後発医薬品採用率[実績（%）]（神戸・福岡・京都・堺・広島・大阪・静岡）</p> <p>○後発医薬品採用率[目標（%）]（福岡・京都・堺・広島・大阪・静岡）</p>

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>3 自立的な業務運営体制の構築</b></p> <p><b>(1) マネジメント体制の確立</b></p> <p>ア 病院経営を取り巻く環境の変化に迅速かつ的確に対応していくため、理事長のリーダーシップの下、理事会を中心とした主体的かつ機動的な意思決定システムを構築する。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○自立的なマネジメント体制の確立に向けて、理事長等の役員で構成する理事会の他、両病院の幹部職員で構成する経営本部会議等を設置する。</li> <li>○法人本部と各病院の権限と責任を明確にし、組織目標、部門別目標の設定による目標管理を徹底する。</li> <li>○病院経営を担う法人本部・事務局組織の体制強化に向けて、企画経営部門の機能強化、病院経営に精通した民間人材の登用や医療経営コンサルタントの活用、ジョブローテーションによる幹部人材の育成に取り組む。</li> </ul> <p>イ 各病院において、院長以下、全ての職員が一丸となって病院運営にあたることのできる組織風土づくりに取り組む。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○病院全体の組織目標、診療科や課単位の部門別目標を明確にし、全ての職員が組織や部門別の目標を踏まえた目標管理ができるよう実効性のある目標管理体制の構築に取り組む。</li> <li>○病院職員全体の情報共有に向けて、病院運営や経営状況に関して情報誌や説明会等ですべての職員に周知するとともに、職員による病院運営に関する提言等が法人・病院幹部に伝わるような仕組みづくりに取り組む。</li> </ul>	<p><b>3 自立的な業務運営体制の構築</b></p> <p><b>(1) マネジメント体制の確立</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○理事会及び事務局などの体制を整備し、理事長や院長の権限を強化するとともに、市民病院機構内で適切な権限配分を行うために、理事会規程、組織規程及び専決規程等を整備する（神戸）</li> <li>○中期目標、中期計画及び年度計画に掲げる組織目標を着実に達成するために、理事会をはじめ常任理事会を定期的に開催するなど、役割分担を明確にしたうえで、意思決定を迅速かつ適切に行う（神戸）</li> <li>○病院経営に関する知識・経験を有する人材の民間等からの採用や、医療の専門知識を有する医療技術職の事務部門への配置等、弾力的な人事管理を行い、必要に応じて医療経営コンサルタント等も活用しながら診療報酬改定等の医療環境の変化や患者の動向等を迅速かつ的確に把握・分析し、効果的な経営戦略を企画・立案できる事務部門を構築する（福岡）</li> <li>○企画戦略機能を強化し、地方独立行政法人制度の特徴を生かした自律的・弾力的な病院経営を実施するため、法人業務全体の経営管理を行う部門を設置する。また、病院経営や医療事務等に精通した人材を積極的に確保・育成して経営能力等を強化する（京都）</li> <li>○医療経営、医療事務に係る専門知識や豊富な経験、経営感覚を有する職員の確保や育成を行うとともに、市からの派遣職員は、法人が独自に採用する職員に段階的に切り替える（堺）</li> <li>○効果的な経営戦略を企画立案するため、必要に応じて医療経営コンサルタント等の活用を検討する（広島）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○全職員が経営状況や問題点及び責任を共有できるよう、病院内のコミュニケーションの活性化に努める。理事長及び院長はリーダーシップを発揮し、そのための仕組みづくりを検討する（神戸）</li> <li>○役員と職員との円滑な意思疎通を図るため、理事会の開催状況など、役員らの活動について、常に職員が把握できるよう、周知に努め、各部門からの業務運営に関する報告や提案をしやすい仕組みを構築する（京都）</li> <li>○病院事業の根本となる理念の更なる共有化を図り、人事評価制度を通じ、個々の職員の業務に対する意欲や目的意識を向上させる（京都）</li> <li>○職場における業務改善や組織横断的な経営改善活動の取組を進め、職員の積極的な経営参画意識と士気を高めるとともに、常に業務改善に取り組もうとする組織風土の醸成に努める（堺）</li> <li>○職員の意見を理事会等へ提案する制度など、全ての職員が病院運営に参画することができる仕組みづくりを行う（堺）</li> </ul>	<p><b>3 自立的な業務運営体制の構築</b></p>

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>(2) 職員の経営意識の向上</b></p> <p>ア 職員の経営感覚を高めるため、病院の経営課題や経営状況に関する説明会や情報提供に取り組むほか、職員を対象とした外部講師による講演会の開催などにより職員の経営意識の向上に努める。</p> <p>イ 職員自らが業務改善に積極的に取り組めるよう、職員提案制度の充実、アンケート・ヒアリングの実施、職員と病院幹部の交流の促進等により職員の声を聴く取り組みや、職員の提案を実現させるための仕組みづくりに取り組む。</p> <p><b>(3) 法令・行動規範の遵守等</b></p> <p>ア 公立病院として、市民の信頼を確保するため医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、法人職員としての行動規範と倫理を確立する。</p> <p>法令・行動規範の遵守にあたっては、関係内部規定を整備し適切に運用するとともに、コンプライアンスに関する職場研修を定期的実施する。</p> <p>また、診療情報に関する個人情報については、保護とセキュリティの確保等に努める。</p> <p>イ ガバナンス強化の観点から、役職員の不正防止に向けて地方独立行政法人法に基づく、内部統制の仕組みを整備するとともに、市立病院にふさわしい行動規範・倫理を遵守するための制度を構築する。</p>	<p><b>(2) 職員の経営意識の向上</b></p> <p>○事務職員や技術職員が病院運営に関わる能力等を向上させるための支援制度を構築する。併せて、既に病院事務に関する専門知識を有する経験者を採用する（神戸）</p> <p>○目標管理のツールであるバランススコアカード(B S C)のメリットを生かし、P D C A サイクルを確立して、質の高い経営を進める（神戸）</p> <p>○職員の経営参画意識を高め、よりよい病院づくりに向けた取り組みを推進するため、病院の運営方針や課題についての職員間での情報共有や課題改善を検討するための会議を開催するとともに、課題改善の奨励に取り組む（静岡）</p> <p>○職員の経営参画意識と志気の高揚を図るため、理事会における議論など、病院経営に関する情報、課題等を定期的に職員に周知し、個々の職員が経営状況や病院の業務運営上の課題を理解し、継続的に業務改善へ取り組む組織風土を醸成するとともに、職員の業務改善等に係る提案や取組を奨励し、積極的に評価する（京都）</p> <p>○職員が業務の改善提案などの意見を積極的に出しやすい環境整備に努め、また、職員間において業務にかかわる情報共有の場を確保し、職場内のコミュニケーションの活性化を図る（京都）</p> <p>○院内に設置している意見箱や市民の声、患者アンケートなどを通して、患者や市民からの意見の収集に努め、迅速に業務改善に反映する取組を行う（堺）</p> <p><b>(3) 法令・行動規範の遵守等</b></p> <p>○公的使命を適切に果たすため、医療法をはじめ市の条例が適用される個人情報保護や情報公開等も含め関係法令を遵守するとともに、市民病院としての使命を果たし、市民からの信頼を確保するために各種規程を整備し、適切に運用を図る（神戸）</p> <p>○法令・行動規範の遵守の重要性を全職員が認識・実践するために、院内における職場研修を定期的実施し、周知徹底を図る（神戸）</p> <p>○市立病院としての使命を適切に果たすため、医療法をはじめとする関係法令を遵守するとともに、内部規程の策定、倫理委員会によるチェック等を通じ、役職員の行動規範と倫理を確立する（福岡）</p> <p>○職員のコンプライアンス遵守を目的とした組織を設置し、コンプライアンスに関する研修を定期的実施するなど、全職員の法令及び行動規範遵守に向けた取組を推進する（堺）</p> <p>○患者の病状や治療手法など、機密度の高い個人情報の保護について、個人情報保護マニュアルの整備や研修の開催などにより、全職員に対して、個人情報を保護することの重要性の認識と厳重な管理の徹底を図る（堺）</p> <p>○個人情報保護マニュアルを整備し、コンプライアンスに関する研修を定期的開催して、職員の行動規範と倫理を徹底する。（岡山）</p> <p>○患者への説明責任を十分に果たし、患者の意見が尊重できるよう配慮をするとともに、手続の公正を確保するために、倫理委員会等による事前・事後の管理・監督体制を整備する。（神戸）</p> <p>○監事、会計監査人による監査の活動範囲と内容を明確に定義し、独立・公正な立場で業務遂行ができる体制を確立し、監査の報告とフォローアップを的確に実施する（京都）</p>	<p><b>(3) 法令・行動規範の遵守等</b></p> <p>○診療録開示件数[実績（件）]（神戸市）</p>

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>4 職場環境の充実</b></p> <p>ア 働き方改革の観点から、病院の実態に即した職員が働きやすい職場環境づくりに努める。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○地方独立行政法人制度の特長を活かした法人固有の人事給与制度の構築に向けて、病院の業績が特に良好な場合の賞与の支給や職員の業績を反映した昇給制度を導入するとともに、人事評価制度のあり方、契約職員の勤務時間等の見直しや、女性が働きやすい職場環境作り等について検討する。</li> <li>○働き方改革の観点から、病棟への薬剤師の配置や手術室への臨床工学技士の配置等、医療スタッフの負担軽減に取り組むとともに、業務の見直しによる時間外勤務の削減やワークライフバランスの確保により職員の健康保持に取り組む。</li> </ul> <p>イ 職員のやりがいや満足度の向上に向けて、職員満足度調査を実施するとともに、職員研修や職員提案制度の充実、人事評価制度の見直しなどに取り組む。</p>	<p><b>4 職場環境の充実</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>○勤務体制の見直し（看護職員の2交代制など）や各職種及び各職員の役割を適切に分担することで職員の負担軽減に努めるほか、休暇取得率の向上に取り組む（神戸）</li> <li>○働きやすい職場環境の実現のため、短時間正職員制度や育児短時間勤務制度の導入と効果的な活用を推進する（大阪）</li> <li>○時間外勤務の削減など労働時間の適正な管理を進めるとともに休暇取得率の向上に取り組む（京都）</li> <li>○時間外勤務、休日勤務の削減等に取り組む、職員の健康保持や子育てを支援する（広島）</li> <li>○医療職の負担を軽減するため、医療クラークの活用など各職種の業務を明確にし、適切な役割分担を図る（神戸）</li> <li>○医療クラークや看護補助者等、医療スタッフが行う業務を補助する職員を増員し、医療スタッフの負担軽減を図るとともに、迷惑患者等に対応する専門職員を配置するなど、業務に専念できる職場環境の整備に取り組む（広島）</li> <li>○メンタルヘルス対策も含め、職員の健康の保持増進に取り組む、快適な職場環境づくりを進める（京都）</li> <li>○職員の心の健康対策として、過重労働による健康障害の防止のための教育・研修の実施、相談体制の整備、職場復帰支援等を推進する（広島）</li> <li>○育児のための短時間勤務制度及びその代替措置としての短時間勤務職員雇用制度を導入することにより、子育て中の職員の負担軽減を図る（神戸）</li> </ul> <ul style="list-style-type: none"> <li>○法人職員としての働きがいなど、職員の満足度にかかわる調査を実施する。職員満足度の向上を患者満足度の向上につなげる観点から、職員満足度と患者満足度を併せて分析、公表する（京都）</li> <li>○職員の専門資格、認定資格を有効に活用するため、資格を取得した医療スタッフの専門性を発揮できる職場への配属に努めるなど、職員の職務意欲を喚起する職場づくりを行う（堺）</li> <li>○職員の業績、職務能力等の評価基準を明確にするとともに、評価結果に対する説明責任を果たすなど人事評価の透明性を確保することにより、職員の意欲を引き出す公平感のある人事給与制度を構築する（堺）</li> <li>○職員の意欲を引き出す人事制度を構築するとともに、職員の業績や能力、貢献度が公平に客観的に評価され、処遇面等に活かされる人事評価システムの導入を図る（福岡）</li> <li>○病院の業績や職員の職務・職責等に応じた給与制度を導入し、職員のモチベーションの維持・向上及び人件費の適正化を図る（福岡）</li> <li>○人材の「確保」「育成」「定着」を3本柱に優秀な人材の確保に取り組む（大阪）</li> <li>○年功による昇給制度の見直し及び業務内容に応じた処遇の検討、優秀な退職職員に対する柔軟な再雇用制度の創設などを検討する（大阪）</li> <li>○長期・短期留学や教育課程受講中における職員の給与面での負担を軽減する休職制度など、職員が積極的に資格取得に取り組める環境づくりに資する人事給与制度を構築する（神戸）</li> <li>○職員のモチベーションを維持するために、職員の悩みなどの相談体制を整備するとともに、患者からの過度の苦情への対策マニュアルによる対応や警備の強化を行う（神戸）</li> </ul>	



中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標																								
<p><b>第4 財務内容の改善に関する目標を達成するためとるべき措置</b></p> <p><b>1 財務基盤の安定化</b></p> <p>ア 政策医療を着実に提供しつつ、地方独立行政法人制度の特長を活かした効率的な病院運営を行うことにより、財務基盤を安定化させる。</p> <p>財務基盤の安定化に当たっては、経営課題を明確にし、中長期的な収支管理に取り組むとともに、月次決算等の経営情報をきめ細かく把握し、部門別の目標達成状況の分析を行うことにより、経営情報を法人全体で共有する。</p> <p>また、そうした情報を法人全体で共有するとともに、部門ごとの目標達成状況を適宜確認するなど、目標管理による病院運営体制を確立する。</p> <p>イ 中期目標期間における営業収支及び経常収支の黒字化を実現する。</p> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1020 1400 1253"> <thead> <tr> <th rowspan="2">項目</th> <th colspan="2">医療センター</th> <th colspan="2">八幡病院</th> </tr> <tr> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>営業収支比率</td> <td>—</td> <td>調整中</td> <td>—</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>経常収支比率</td> <td>96.0%</td> <td>調整中</td> <td>99.1%</td> <td>調整中</td> </tr> <tr> <td>(参考) 医業収支比率</td> <td>91.6%</td> <td>調整中</td> <td>96.7%</td> <td>調整中</td> </tr> </tbody> </table> <p>※目標については、医療センター〇〇〇床、八幡病院〇〇〇床をベースに、平成29年度決算時点の収支をもとに算定しており、今後の病床数や収支の状況によって数値が変動する可能性がある。</p> <p>※営業収支比率、経常収支比率、医業収支比率（実績）は、本庁（法人本部）、看護専門学校の収支を各病院の病床比率で加算している。</p> <p>※医業収支比率（目標）は、地方独立行政法人の会計基準により、市からの運営費負担金及び本部・看護専門学校の収支を含まない。</p> <p>ウ 大規模な設備投資等に伴う資金の借入れや返済等、長期的な資金収支の均衡を図る。</p>	項目	医療センター		八幡病院		平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標	営業収支比率	—	調整中	—	調整中	経常収支比率	96.0%	調整中	99.1%	調整中	(参考) 医業収支比率	91.6%	調整中	96.7%	調整中	<p><b>1 財務基盤の安定化</b></p> <p>○医療環境の変化に的確に対応しながら、収入の確保及び費用の節減を図り、市からの運営費負担金等の繰入後の経常収支を均衡させ、安定的な経営を維持する（静岡）</p> <p>○不採算医療及び行政的医療に係る市からの運営費負担金等の交付の下、市民病院としての役割を果たすと同時に、安定した経営基盤を確立するため、増収対策及びコスト管理の徹底等に取り組む（神戸）</p> <p>○救急医療などの政策医療や不採算医療に係るものについて、市からの適正な運営費負担金の交付を受けて確実に実施する。それ以外の医療については、医業収益で収支の均衡を図れるよう、経営の効率化に取り組む（堺）</p> <p>○運営費負担金繰入後の経常黒字が達成できる経営基盤を確立するため、経営改善のために取り組むべき課題を明確にし、増収及び費用削減や中・長期的視点に立ったコスト管理に取り組むとともに、月次決算の実施など経営に関する情報を迅速に把握し、部門ごとの経営状況の分析や他病院との比較分析を行うなど、効率的な病院経営を行う（福岡）</p> <p>○部門ごとに具体的な目標を設定し、その達成状況を適宜確認するなど経営管理を徹底する（福岡）</p> <p>○確実な診療科別・部門別の原価計算方式による損益分析の検討を進め、適時的確な経営分析により機動的な病院経営を行うことにより、中期目標の期間中の資金収支の均衡及び病院ごとの経常黒字を目指す（神戸）</p> <p>○収入の確保と費用の節減に取り組むことで、中期目標期間中の経常収支の黒字を達成する（堺）</p>	<p><b>1 財務基盤の安定化</b></p> <p>○経常収支比率[実績（%）]（神戸・福岡・堺・岡山・広島・静岡）</p> <p>○経常収支比率[目標（%）]（神戸・福岡・堺・岡山・広島・静岡）</p> <p>○医業収支比率[実績（%）]（神戸・福岡・堺・岡山・静岡）</p> <p>○医業収支比率[目標（%）]（神戸・福岡・堺・岡山・静岡）</p> <p>○総収支比率[実績（%）]（福岡、静岡）</p> <p>○総収支比率[目標（%）]（福岡、静岡）</p> <p>○経常損益[実績（円）]（京都）</p> <p>○経常総益[目標（円）]（京都）</p> <p>○単年度資金収支[実績（円）]（神戸）</p> <p>○単年度資金収支[目標（円）]（神戸）</p>
項目		医療センター		八幡病院																						
	平成29年度実績	平成35年度目標	平成29年度実績	平成35年度目標																						
営業収支比率	—	調整中	—	調整中																						
経常収支比率	96.0%	調整中	99.1%	調整中																						
(参考) 医業収支比率	91.6%	調整中	96.7%	調整中																						

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標						
<p><b>2 運営費負担金のあり方</b></p> <p>法人としては、可能な限り自立した経営に努めることとするが、財務基盤の安定化に向けて医療センターと八幡病院の役割である政策医療の実施にかかる費用等については、国の基準に基づいて市の運営費負担金が適切に交付されるよう、市の支援を求めていく。</p>	<p><b>2 運営費負担金のあり方</b></p> <p>○政策医療を着実に実施する一方、それらに係る経費の節減にも努め、運営費交付金については、政策医療を着実に実施することにより不採算となる金額を受け入れることとする（京都）</p> <p>○運営費負担金は、公的に必要とされる医療を安定的に提供することによる不採算経費等として、救急医療、感染症医療、小児医療など毎年度総務省が発出する「地方公営企業繰出金について」に準じた考え方により算出する。なお、建設改良費及び長期借入金の元利償還金に充当する運営費負担金については、経常費助成のための運営費負担金とする（岡山）</p> <p>○地方独立行政法人の特長である自律性、機動性、柔軟性を発揮し、経営効率を上げることで、設立団体である大阪市からの運営費負担金の削減に取り組む（大阪）</p>	<p><b>2 運営費負担金のあり方</b></p> <p>○運営費負担金比率[実績（%）]（神戸・堺）</p> <p>○運営費負担金額[実績（円）]（大阪）</p> <p>○運営費負担金額[目標（円）]（大阪）</p>						
<p><b>第5 その他業務運営に関する重要事項を達成するためとるべき措置</b></p>								
<p><b>1 看護専門学校の運営</b></p> <p>ア 地域の看護師養成機関として、優秀な人材の育成に取り組む。</p> <p>○市立病院との一体的運営という利点を活かし、講義や臨地実習等において、相互協力することにより、臨床看護及び教育の質を向上させる。</p> <p>○地域の看護職の教育に貢献するため、可能な限り学校施設・設備及び教材の開放に努める。</p> <p>○優秀な看護学生の確保に向けて、学生や社会人を対象としたオープンキャンパスを実施するとともに、学校訪問や説明会の開催等に取り組む。</p> <p>○看護師の定着に向けて、卒業生に対するフォローアップ事業に取り組む。</p> <p>イ 教育の質を確保しつつ、効率的な運営に努める。</p> <p>○教員については、市立病院看護部との人事交流により、看護教育に適性の高い人材の配置・育成に取り組む。</p> <p>○教育環境の整備や学習教材の充実等に取り組むとともに、奨学金制度や授業料等、学生による費用負担のあり方について検討する。</p> <p>&lt; 関連指標 &gt;</p> <table border="1" data-bbox="270 1482 1389 1583"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>平成29年度実績</th> <th>平成35年度目標</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>卒業生の市内就職率（%）</td> <td>%</td> <td>%</td> </tr> </tbody> </table> <p>ウ 将来的な看護専門学校のあり方については、市と法人で十分協議する。</p>	項目	平成29年度実績	平成35年度目標	卒業生の市内就職率（%）	%	%	<p><b>1 看護専門学校の運営</b></p> <p>○看護学生の確保を促進するため、看護学校が主体となった中学生及び高校生を対象とした体験学習やオープンキャンパスを実施する（千葉県）</p> <p>○看護基礎教育の質を確保し、県立病院の持つ医療資源を活かして、高度医療から訪問診療・在宅看護を含むへき地医療まで、幅広く対応しうる看護人材を、安定的かつ継続的に育成する（長野県）</p> <p>○保健・医療・介護等の総合的な能力の習得に努めるため、病院、訪問看護、保育所などの実践的な臨地実習やカリキュラムに基づいた教育を行う（千葉県）</p> <p>○看護教員の総合的な能力の向上に努めるため、看護部内に看護教員の研修修了者を一定数確保し、看護部と看護学校間の人事交流を行う（千葉県）</p> <p>○病院機能及び看護学校機能の充実に努めるとともに、経営改善に一層柔軟に取り組むことができる組織体制を確立する（徳島県）</p> <p>○病院機能との一体的運営であることの利点を活かし、教育内容の向上を図るとともに、鳴門病院をはじめ県内の医療機関への就職を促進する（徳島県）</p>	
項目	平成29年度実績	平成35年度目標						
卒業生の市内就職率（%）	%	%						

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>2 施設・設備の老朽化対策</b></p> <p>建築後25年以上を経過している医療センターの老朽化対策については、法人内部での検討を開始するとともに、具体策については、市全体の将来的な政策医療の提供体制に関する検討結果を踏まえたものになるよう、市と緊密に連携していく。</p> <p>また、医療センターの老朽化対策を含めた大規模な投資が必要な事案については、市と十分協議しながら取組を進める。</p> <p><b>3 市政への協力</b></p> <p>ア 地域包括ケアシステムの構築や、障害者医療への支援体制づくりなど、市が進める保健・医療・福祉・介護に関する施策については、積極的な役割を果たす。</p> <p>イ 災害発生時やその他の緊急時の医療提供体制については、北九州市地域防災計画や北九州市災害対策本部の決定等に基づき、北九州市医師会と連携し、適切な役割を果たす。</p> <p>ウ その他、市からの協力要請については、積極的に対応する。</p>	<p><b>2 施設・設備の老朽化対策</b></p> <p>○市民病院については、市病院事業運営審議会からの「中核的な病院として機能していること及び市の医療政策の総合的な推進、経営改善の進捗も期待できることから、当面は現在の施設を活用して存続させることが適当である。この場合、経営の効率化や健全化に向けて従来以上の努力を行っていくことが前提となる。なお、繰入金が増大など経営改善の達成状況が不十分な場合や、施設老朽化の時期においては、医療環境や財政状況など諸条件を踏まえて、市民病院のあり方について再度検討する必要がある」との答申を踏まえ、中期計画による経営改善の取組を着実に進め、質の高い医療の提供及び患者サービスの向上に努めるとともに経営の効率化を図る。（福岡）</p> <p>○救命救急センター、ICU（集中治療室）、中央手術室等の病院の中核機能が集中する中央棟は、築後20年を経過し、建物設備の老朽化、陳腐化が進行していることから、その対応について検討する（広島）</p> <p><b>3 市政への協力</b></p> <p>○社会情勢や地域医療の状況の変化などを踏まえ、医療ソーシャルワーカーを新たに配置することにより、保健医療、福祉医療、医療費支払などの経済問題に関する相談に対して、的確かつ丁寧に応じることができる体制を整備する（京都）</p> <p>○食中毒、感染症をはじめとする健康危機事象の発生時等には、感染症指定医療機関、救急告示病院、災害拠点病院としての機能を十分に発揮するとともに、市立病院として保健、福祉行政等の市関係部局との連携と情報共有に努める（堺）</p> <p>○災害その他の緊急時には、広島市地域防災計画等に基づき、市長からの求めに応じて適切に対応するとともに、自らの判断で医療救護活動を行う（広島）</p>	

中期計画（たたき台）

中期計画（たたき台）	他都市記載例	他都市指標
<p><b>第6 予算（人件費の見積もりを含む）、収支計画及び資金計画</b></p> <p><b>1 予算</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画期間中の収支予算の総額</li> <li>・人件費の見積もり総額</li> <li>・運営費負担金の算出基準（考え方）</li> </ul> <p><b>2 収支計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画期間中の損益収支見通しの総額</li> </ul> <p><b>3 資金計画</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・中期計画期間中の資金収支見通しの総額</li> </ul>		
<p><b>第7 短期借入金の限度額</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・限度額の設定（想定外の退職手当の支給、偶発的な出費への対応等）</li> </ul>		
<p><b>第8 出資等に係る不要財産又は出資等に係る不要財産となることが見込まれる財産がある場合には、当該財産の処分に関する計画</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>		
<p><b>第9 重要な財産の譲渡又は担保に供する計画</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・なし</li> </ul>	<p>数値については調整中</p>	
<p><b>第10 剰余金の使途</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・決算において剰余金を生じた場合は、病院施設の整備、医療機器の購入、人材育成及び能力開発のための研修や教育などに充てる。</li> </ul>		
<p><b>第11 料金に関する事項</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・料金の具体例 ※現在、条例で規定している内容と同等 （差額ベッド代、非紹介患者加算料、分娩料、駐車料金、看護学校入学金・授業料等）</li> <li>・減免規定（理事長は、特別の理由があると認めるときは、料金を減免又は免除することができる）</li> </ul>		
<p><b>第12 その他設立団体の規則で定める業務運営に関する事項</b></p>		
<ul style="list-style-type: none"> <li>・施設及び設備に関する計画（施設設備の整備予定額、財源）</li> <li>・人事に関する計画（採用等の考え方）</li> <li>・中期目標の期間を超える債務負担（地方債・長期借入金の償還額）</li> <li>・積立金の処分に関する計画（積立金の使途）</li> </ul>		